



わたしの青少年赤十字

詩・一〇〇文字提案

作品集

「東日本大震災」

子どもたちからの声

はじめに

青少年赤十字の大きな特色は、学校教育の中で組織された先生方の適切な指導のもと実践されてきていることです。

日本赤十字社福島県支部は、各学校が青少年赤十字を通して人間尊重の精神を学び、充実した学校教育を推進していくための方法として、より積極的に青少年赤十字活動を推進してほしいと願っています。

このような考えをふまえ、福島県支部では、本年度も県内加盟校を対象に、児童生徒の作品を募集いたしました。特に今年度は、海外の赤十字社から寄せられた救援金で行われている「東日本大震災復興支援推進事業」の一つとして実施し、最優秀賞に選ばれた作品の中から「日本赤十字社社長賞」「日本赤十字社福島県支部長賞」が設定され、選考されたところです。

このたび、選考された作品をまとめ、作品集として刊行する運びとなりました。子どもたちの大震災にもめげずがんばっている、生き生きとした姿をお読みいただければ幸いです。

募集作品

□詩（いのちの詩、愛の詩）

昨年三月の東日本大震災、あれから一年が過ぎましたが、その復興にむけ、小中学生や高校生の皆さんも、少しずつがんばって生活しようとしているようです。

そのような中で、あらためて「いのち」「愛」について見つめなおす機会になったのではないでしょうか。このように、「命」「愛」について、見つめなおしたり、日頃考えたりしていることなどを「詩」などに表現してほしいと願い、作品を募集いたしました。

□わたしの○○文字提案

次のテーマから選んで、自分の考えを端的に表現した作品を募集しました。

「あたたかい言葉のプレゼント」

「わたしのボランティア」

「○○さんのすばらしいところ」

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行した』こと、しよつとしたこと」（高校生のみ）

これらの課題について、児童生徒の皆さんのユニークな考えや想いを表現してほしいと願い、作品を募集いたしました。

はじめに・募集作品

目次

詩「いのちの詩」「愛の詩」

社長賞……………7

支部長賞……………8

最優秀……………9

優秀……………11

佳作……………15

入選……………20

一〇〇文字提案

「あたたかい言葉のプレゼント」

支部長賞……………27

最優秀……………28

優秀……………29

佳作……………33

入選……………41

一〇〇文字提案

「わたしのボランティア」

支部長賞……………47

最優秀……………48

優秀……………49

佳作……………52

入選……………58

一〇〇文字提案

「〇〇さんのすばらしいところ」

支部長賞……………65

最優秀……………66

優秀……………68

佳作……………72

入選……………81

一〇〇文字提案

「東日本大震災で、わたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようとしたこと』」

優秀……………86

佳作……………87

入選……………88

一〇〇文字提案

「その他」

佳作……………91

入選……………91

応募校一覧……………92

作品審査を終えて……………93

詩「いのちの詩」「愛の詩」

「いのちの詩・愛の詩」

社長賞・最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

優秀

伊達市立掛田小学校

五年 氏家 未夢

天栄村立牧本小学校

三年 真船 空怜

福島県立白河実業高等学校

三年 倉持 真奈

鏡石町立第二小学校

二年 三瓶 悠

四年 高島 奈月

いわき市立入遠野中学校

三年 東山 春菜

須賀川市立第一小学校

五年 円谷明々香

須賀川市立柏城小学校

三年 石橋 龍弥

社長賞

二本松市立原瀬小学校

三年 渡辺 華歩

須賀川市立小塩江中学校

二年 竹内 梢恵

郡山市立安積第三小学校

六年 佐藤 未憂

支部長賞

郡山市立桃見台小学校

一年 續橋 秀人

天栄村立大里小学校

六年 金子 真唯

須賀川市立長沼東小学校

六年 添田 遥

学校法人松韻学園福島高等学校

二年 安斎 秀喜

会津若松市立小金井小学校

六年 栗城日菜子

最優秀

新地町立新地小学校

五年 佐々木真白

福島市立福島第一小学校

一年 国分煌史郎

福島市立福島第二中学校

二年 鈴木 友梨

二本松市立二本松南小学校

六年 三浦菜都美

須賀川市立柏城小学校

四年 矢吹 美空

福島市立蓬萊中学校

一年 岡嶋 亮介

一年 新山 結唯

郡山市立片平小学校

四年 遠藤 理緒

福島市立福島第二中学校

一年 鈴木 紘平

二年 七島奈津実

三年 菅野 咲

郡山市立安積第三小学校

六年 今泉啓由紀

六年 阿部紀奈利

六年 佐々木紫苑

白河市立釜子小学校

三年 谷井 駿斗

西郷村立熊倉小学校

五年 加藤 遼大

郡山市立桃見台小学校

一年 湯田 媛香

二年 瀧波 柊哉

六年 渡邊 詩

郡山市立安積第三小学校

六年 今泉啓由紀

新地町立新地小学校

五年 佐々 瑞穂

五年 山田 怜海

六年 西谷 美冬

三年 横山 正貴

三年 佐伯 崇哉

三年 佐伯 彩花

郡山市立日和田小学校

六年 伊藤穂乃花

佳作

福島市立東湯野小学校

六年 大内菜々美

二本松市立二本松南小学校

六年 橋本 歩夢

六年 佐藤朋之伸

六年 橋本 歩夢

六年 佐藤朋之伸

六年 佐藤朋之伸

石川町立山形小学校

一年 そえた しゅうま

天栄村立牧本小学校

三年 君島 理加

三年 大須賀姫瑠

須賀川市立長沼東小学校

六年 大河原知諒

須賀川市立大森小学校

五年 熊田 陽

「いのちの詩・愛の詩」受賞者一覧

会津若松市立小金井小学校

六年 伊藤 夕貴

六年 角田 綸

須賀川市立第二中学校

三年 関根 里菜

喜多方市立第一小学校

五年 鈴木 芽衣

六年 角田 萌

下郷町立下郷中学校

一年 玉川 和磨

新地町立新地小学校

五年 佐藤 真央

五年 小野 未来

六年 橋浦明日音

いわき市立内郷第三中学校

二年 北郷 祥子

三年 高木亜沙美

南相馬市立真野小学校

六年 桑折有利沙

福島県立白河実業高等学校

二年 円谷 真也

三年 近藤 浩平

福島市立福島第二中学校

一年 阿部 咲良

一年 大内 栞那

二年 石川 航多

三年 齊藤 美優

三年 渡部 雅史

三年 高野 園嘉

福島市立遠葉中学校

一年 佐藤 圭佑

「いのちの詩・愛の詩」日本赤十字社 社長賞

須賀川市立小塩江中学校 二年 竹内 梢恵

忘れるな

あの一瞬のでき事を

忘れるな

自然に對してなすすべがなかった事を

忘れるな

帰りたいと思う故郷を

忘れるな

命を張って人々を助けた英雄^{ひと}を

思い出せ

日本人の誇り高き美しさを

「いのちの詩・愛の詩」支部長賞

天栄村立大里小学校 六年 金子 真唯

家の前の山がくずれた

山の土は

田んぼまできた

もう少しでぼくの家も

うまるところだった

信じられない

光景を目にして

家族の無事を感じた

こわれかけた家の中

みんなの笑顔があった

学校法人松韻学園福島高等学校 二年 安斎 秀喜

悔しかった。

震災があったのに何もできずにいるちっけな自分が。

怖かった。

急に変わった周りの視線が。

嬉しかった。

「応援してるよ」って言ってもらえることが。

「ありがとう」とたくさん笑顔に出会えたことが。

「いのちの詩・愛の詩」最優秀

福島市立福島第一小学校 一年 国分煌史郎

五月にあかちゃんがうまれました。
ぼくのおとうとです。あかちゃんがおっ
ぱいをのんでるところがとってもかわ
いいです。なつやすみにおむつこうか
んのおてつだいをします。

あかちゃんはぼくのたからものです。

二本松市立二本松南小学校 六年 三浦菜都美

わたしたちは
命を食べて生きている
食べられる物たちの
思いを考え食べてみる
きらいな物も少しだけ
すきな物にかわるかな
わたしたちは
命を食べて生きている
そのめぐみに感謝して
わたしたちは生きる

二本松市立原瀬小学校 三年 渡辺 華歩

前に、
ハムスターを育てていたよ

名前は
「モモ」

だけど、五年前の冬、
さむくて死んじゃった

家の近くに
やさしくうめたよ

モモ、
私のことおぼえてる？

私は
モモをわすれない

今日もモモに
お花をあげるね

郡山市立安積第三小学校 六年 佐藤 未憂

東日本大震災で
多くの人々の命が
うしなわれた。
けれど

人々の温かい気持ちは
失われなかった。

だからこうして

今がある

人々が助け合い

信じ合えるかぎり

郡山市立桃見台小学校 一年 續橋 秀人

めがでたよ
ぼくのあさがお
ぐんぐんのびて
びんくのおはなが
たくさんさいて
かれてもたねが
できるよね
そしていのちが
つながるよ

須賀川市立長沼東小学校 六年 添田 遥

あなたやわたしが
生きてゆけるのは
だれかを想うその心があるから
だれかに想われて
いたいから
大事だよって
言ってもらいたいから
そんな気持ち大事
いつまでも忘れないで

会津若松市立小金井小学校 六年 栗城日菜子

生まれてくる命と老いていく命。
七十才をすぎて、はなれた町に独りで
暮らす祖母の事が心配になる。「元気？」
と電話の祖母の声。祖母もまた私達の
心配をしている。私達は大丈夫だから、
いつまでも元気で長生きしてね。

新地町立新地小学校 五年 佐々木真白

ふしぎだね、絆が強まる家族の輪。
大丈夫、星になった人の分だけ強く生
きる。

こんなことを思った一年間……
けど怖かった、震えながら寝たあの日
の夜。
悲しかった、泣きながら見た、育った家。

福島市立福島第二中学校 二年 鈴木 友梨

私は知った
時がたっても心に傷を
負ったままの人がいる事を
私は知った
大切な人を失った人が
まだたくさんいる事を
私は知った
それでも生きようとする人が
多くいる事を

「いのちの詩・愛の詩」優秀

伊達市立掛田小学校

五年 氏家 未夢

大好きな海

キラキラ光る楽しい海

大好きな海

三月十一日に

すべてが変わって

町と人を飲みこんだ

真っ黒な海

大好きな海

みんな笑顔で泳げる日

くるのかな

二本松市立二本松南小学校

六年 安齋 萌葉

毎日言っている

おはよう

毎日言っている

こんにちは

毎日言っている

ありがとう

毎日言っていたのに

今気づいた

命と心があって

毎日言えること

郡山市立日和田小学校

六年 伊藤穂乃花

大丈夫 大丈夫

その言葉を聞くと

心がホッとする

大丈夫 大丈夫

その言葉だけで心が落ち着く

大丈夫 大丈夫

それがわたしに元気をくれる合

言葉

郡山市立安積第三小学校

六年 今泉啓由紀

みんなはね…

地震がきて

たくさんの人が

お空にいったよ

みんなはね…

死んではいけないよ

今もお空でね

僕たちの事を

見守っているんだよ

郡山市立桃見台小学校

一年 湯田 媛香

だいしんさいのひ、おかあさ

んがむかえにきてかえったら、

おうちはくずれて、もうすめな

くなっていた。すごいしょく

だった。だけど、おとうさんが

きて、かぞくがみんなぶじだっ

たんだからいいだろうといった。

郡山市立桃見台小学校

二年 瀧波 柊哉

ぼくのたん生日、一年で一ぱ

ん大すきな日。かぞくみんなに

「おめでとう」って言ってもらえ

るから。「大きくなったね」って

言ってもらえるから。でも、本

当は、おかあさんやおとうさん

に「ありがとう」って言う日だね。

郡山市立桃見台小学校

二年 荒木 優花

いもうとが生まれたよ

小さな手

小さな足

小さい小さい

いのち

かぞくにとって

大きな光

みらいにとって

きぼうの光

すてきないのち

郡山市立桃見台小学校

六年 渡邊

詩

私のひいおばあちゃん
九十五才のひいばあちゃん
自分の事は自分でやる
素敵だなあ
足をきたえて
ろうかを歩いている
机の周りを歩いている
口の中で歩数を数える
頭の体操かなあ
私もがんばろう

須賀川市立第一小学校

六年 渡辺

麗

好きな歌聴きながら
空を見る
災害が起きてても
青い空は広がる
悲しい事故が起こっても
青い空は広がる
こんな空を見ると
すべてを
がんばろうと思う

須賀川市立柏城小学校

四年 矢吹 美空

お父さんがいる
お母さんがいる
友達がいる
家がある
水が出る
学校に行く
外で遊ぶ
当たり前だったこと
幸せだったんだ
東日本大しんさい
その時おぼえた言葉
「きずな」
強くなろう
優しくなろう
みんながえ顔に
なる日まで

鏡石町立第二小学校

二年 三瓶 悠

ぼくにあたらしいおとうとが
できたよ。大きかったおかあさ
んのおなかがべっちゃんこに
なって、かわりにおとうとがい

る。ふしぎだな。ちっちゃくて
よくなくぼくのおとうと。おか
あさん、うんでくれてありがと
う。

鏡石町立第二小学校

四年 高島 奈月

三月十一日、町中の明かりが
消えてとてもこわかった。その
時、お父さんがランタンを引ッ
ぱり出して来た。ランタンの火
は、とても明るかった。その明
かりの中に、家族の顔がうつッ
た。それだけで、あたたかくなッ
た。

天栄村立牧本小学校

三年 真船 空怜

見つけたよ
見つけたよ
見つけたよ
田んぼにどじょう
見つけたよ
土手にふきのとう
いろんな生き物

出てきたよ
地しんにまけずに
がんばって

新地町立福田小学校

一年 佐藤 智子

あさがおの、てがのびたよ。
かわいい、かわいい、
つぼみがでたよ。
はながさいたよ。
一つ二つ三つあたたかいひかり
をあびてみんなのゆめもきッ
きッとさくよ。
おおきくさくよ。

新地町立福田小学校

二年 佐伯 崇哉

やさしかったひいばあちゃん。
つなみでしんでしまった。でも、
いつもひいばあちゃんのしゃし
んを見て思い出してるよ。
またあいたいな。ゆめでもい
いから。
いつもやさしくしてくれてあ
りがとう。

新地町立福田小学校

三年 佐伯 彩花

家がつなみで流された
もどりたいとは思うけど
かせつじゅうたくも楽しい
どっちがいいって聞かれたら
なんだか答えられないよ
家がなくても命がある
大切な命がある

新地町立福田小学校

三年 横山 正貴

大しん災がありました。
つなみでおばあちゃんとおば
ちゃんが死んでしまいました。
かなしくて泣きました。泣きま
した。
かぞくはととてもとっても大切
で、人間は生きているだけでい
いんだなと思いました。

新地町立新地小学校

五年 佐々 瑞穂

自然と人は
てんびんにのる
人が自然をこわす分
自然が人を消してゆく
けれども人と自然は
たすけ合う
人は自然をもどしたり
自然は人の食料を作る
二つの関係大切な
命のてんびんだ

新地町立新地小学校

五年 山田 怜海

震災から十日後
がれきは山になって
震災から七か月後
がれきの山に草は生え
震災から一年
がれきの山に花が咲き
震災から二年
がれきの山が少し減り
震災から今
がれきの山を再利用

新地町立新地小学校

六年 西谷 美冬

私はね
私はね
家はね
家も流され
大切な物も流されて
今は仮設に
住んでいる
早く帰りたい
釣師の海に

福島市立福島第二中学校

一年 鈴木 紘平

花が咲く
笑顔の花だ
花が咲く
感謝の花だ
つぼみという名の
命が生まれる
花が咲いた
勇気の花だ
花が咲いた
愛の花だ

福島市立福島第二中学校

二年 七島奈津実

ひとりになりたい
そう思うことがある
ひとりにしてよ
そう言ったことがある
でも
ひとりになって気づく
ひとりには嫌だ
そう思うこともある
戻ろうか
みんなの所へ

福島市立福島第二中学校

三年 菅野 咲

目を閉じれば黒い青
人が家が車が動物が
闇の中に落ちていく
目を閉じれば青い空
人が思いが笑顔が絆が
私達をつなげてく
忘れられない
忘れちゃいけない

福島市立蓬萊中学校

一年 岡嶋 亮介

大地が揺れて
海がたつ
人の力じゃどうにもならない
立ちすくみ逃げ惑う
大きな力が去った後
人は力を出し始める
折れた氣力を立て直し
裂けた心を包みこみ
明日に向かって歩き出す

福島市立蓬萊中学校

一年 新山 結唯

あの日から変わった
生活
流されてしまった
お家
なにもかもが変わった
三、一
でも
変わらない物があった
「笑顔」
がんばろう 福島！

福島市立蓬萊中学校

二年 知野 哲也

少しのざわめきが
大きな悲鳴に変わり
恐怖の傷を与えても
それでも今を
僕は生きてる
どんなに小さな光でも
その輝きは何にも劣らない
そんな光を胸にもって
僕は今を生きている

いわき市立入遠野中学校

三年 東山 春菜

空は青く
太陽は輝き
水は澄んで
花はほころび
虫は鳴いて
木々はしげっている
あの日のことなんて
全て嘘のように
でも私は覚えている
三月十一日のあの時を

福島県立白河実業高等学校

三年 倉持 真奈

手をつなごう
家族と友人と恋人と
どうかその手を
離さないで下さい
絆を消さないで下さい
かけがえのないものを
手で触れて、包んで、
握って、守って
失う前に
どうか気付いて



「いのちの詩・愛の詩」佳作

福島市立東湯野小学校

六年 大内菜々美

ありがたいの言葉を聞くだけで心があたたかくなる。心のあたたかさは愛のおくりもの。愛のあたたかさは身近にあるけど私達はあまりその大事なものが近くにあるのがわからない。言われて気付くあたたかさは愛そのもの。

二本松市立二本松南小学校

六年 橋本 歩夢

こどもの日に松川浦からやってきたおばあさんからもらった小さな小猫。ぼくはかわいがるヨと約束をした。津波で流されたおばあさんの家。元気であるかな。あれから二

年がたち小さな子猫は大きくなりました。

二本松市立二本松南小学校

六年 佐藤朋之伸

犬や猫町に残されかなしいな

郡山市立安積第三小学校

六年 今泉 啓由紀

どうすればいいの？
どうしてなの？
地震がきてから
だれもこない
どうすればいいの？
みんなが帰って

これるにはねえ

どうすればいいの？

郡山市立安積第三小学校

六年 阿部紀楽利

お父さん
震災の時
もしかしたら、命を落とすかもしれない時
お父さんは
私や、妹を優先した
心強かったなあ
お父さんがいる。
たったそれだけの事が。

郡山市立安積第三小学校

六年 佐々木紫苑

震災の出来事は
誰の心にも残る事
原発事故 風評被害
そして 放射線
避難で引越しが
相次ぎ 野菜も
食べれなくなった
亡くなった人もいた
だからといって
人々の心は負けない

郡山市立片平小学校

四年 遠藤 理緒

愛は
人には
見えないけど
やさしくされた時
うれしい時
わらっている時
胸があたたかくなる
愛が心の中で
ほえんでいるのかな

須賀川市立第一小学校

五年 円谷萌々香

やっと気付いたふつうのくらし。びんぼうだと思っていた私の家。ぜいたくしていろんな物がある。そんな家こそふつうのくらしだと思っていた。でも、安心して健康でいられる、そんな家こそ、ふつうのくらしだと気付いた。

須賀川市立柏城小学校

三年 石橋 龍弥

弟は、ぼくのまねをする。ぼくがわらうと、弟も大声でわらう。ぼくがしかられてなくと、弟もなく。ぼくと弟は、時どきケンカする。でも、すぐなか直りできる。マー君、大すきだよ。いっしょに大きくなろうね。

須賀川市立大森小学校

五年 熊田 陽

赤ちゃん
かわいい赤ちゃん
私の妹
みんなに愛されている
赤ちゃん
きっと私も
いっぱい愛をもらって
育ってきたのかな
そしてこれからも…。

天栄村立牧本小学校

三年 君島 理加

しぜんはね
うつくしいけど
こわいんだ
それでもね
わたしたちは
がんばるよ
みんなでやれば
百倍できる
一人じゃないよ
がんばろう

石川町立山形小学校

一年 そえた しゅうま

「ちゅん ちゅん。」
ぶんちようが、おうちのやね
をなきながらあるいているよ。
ぶんちようは、なきこえて
じぶんのきもちをつたえてい
る。なんっていつているのか
な。ぼくは、ことばでつたえ
られるよ。

西郷村立熊倉小学校

五年 加藤 遼大

お母さんのぬくもりは
あたたかい
大じしんがきた時ぼくのこと
をぎゅつとだきしめてくれた
そのぬくもりはすくくあたた
かく、こわい気持ちや不安な
気持ちもすぐにきえていった

会津若松市立小金井小学校

六年 角田 綸

お母さんがおこった
友達におこった
友達がぼくを道路におしたか
らだ
ぼくは恥ずかしかったが少し
うれしかった
お母さんのおこったところは
見たことがなかった
お母さんありがとう

須賀川市立長沼東小学校

六年 大河原知諒

しん災で
金魚の世話をわすれていた
気がついたら
水が少ししかない
でも生きていた
とても弱っていたけど
がんばって
生きていた

天栄村立牧本小学校

三年 大須賀姫瑠

いのちって
ご先様から
ずっとつながってる
むかしの人の教えを
親が子に
しっかり伝えないと
そこでとまってしまう
伝えよう
つなげよう
いのちの大切さを

白河市立釜子小学校

三年 谷井 駿斗

お母さんは、うむのに三日
間もかかった。おなかがいた
くて大へんだった。
ぼくが、生まれた時、家族
全員がまわっていて、よろこん
でくれた。お母さんが、大へ
んな思いをして、生んでくれ
たぼくの命を大切にします。

会津若松市立小金井小学校

六年 伊藤 夕貴

人は長い歴史の中で今日も生
まれる
明日も生まれる
その次の日も次の次の日も生
まれている
約五億年前から続いている人
の命
まるで夜空に光っては消える
星たちのようだ

喜多方市立第一小学校

五年 鈴木 芽衣

愛とは、
人を大切にすること。
愛とは、
人を包みこむこと。
愛とは、
人に優しくすること。
そして、愛とは、
人と自分とを
幸せにするもの。

喜多方市立第一小学校

六年 角田 萌

無数の生命が宿るこの地球で
アナタを見つけました。
これは一つの「運命」だった
のでしょうか？
私はこの事を無数の「キセキ」
や「偶然」が重なって出来た
「必然」だと思っています。

新地町立新地小学校

五年 小野 未来

わたしはね
わたしはね
家も流され
家族も流され
大事な物も流されて…
でもね
でもね
津波のことを忘れるように
毎日笑顔で
過ごして来たよ

新地町立新地小学校

五年 佐藤 真央

大きな津波
おしよせた
波で家が見えない
水がひいたら
何もなかった
私の家も
大切な物も
なくなっていた
いっしゅんの
出来事だった

新地町立新地小学校

六年 橋浦明日音

探してみよう
自分の夢を
探してみよう
信じ合える仲間を
一人じゃないよ
支えてくれる人が
たくさんいるよ
最後まで自分の道を
つらぬこう
あきらめないで

南相馬市立真野小学校

六年 桑折有利沙

しん災に
負けない心が
みんなにあるよ
きずついても
はげましてくれる
みんながいる
あつという間に
月日が流れ
今はすっかり元気
何にも負けず

福島市立福島第二中学校

一年 阿部 咲良

長い行列の中
母と共に並ぶ
不安でしかたない
地震がまたくるのでは
ないのかな
見えない放射線の恐怖
それでも明るい声が響く
元気で前向きな店長さんの声が
だから私も
笑顔忘れずに買い物しよう

福島市立福島第二中学校

一年 大内 葉那

災害はいきなり起こる
小さいころから
地震が来るなんて
考えてもみなかった
あの大きな大きな
震災で気づいたこと
今までの何気ない
日常が
とてもとても
幸せだということ

福島市立福島第二中学校

二年 石川 航多

ある日のこと
平凡な村に降ってきた
ある日のこと
村に活気がなくなった
ある日のこと
村は一人ぼっちになった
あれから一年
まだ村は一人ぼっちで
おびえてた。

福島市立福島第二中学校

三年 齊藤 美優

あの日のことを今でも時々思
い出すんだ
足を失くした体がもう惜けな
くてさ
周りのみんなに助けられて、
今
私は元気に生きてるよ
残り何十年の人生での私の大
事な一部となり
あの日だって生きてる

福島市立福島第二中学校

三年 渡部 雅史

「いのちの泉」
波が生まれる
生の波だ
音が響く
涙が落ちる音だ
水がにぎる
争いがあつたからだ
だけどきれいなのは
人が人を思ふからだ

福島市立福島第二中学校

三年 高野 園嘉

あの日から
公園がさびしい
私も小さいころ
よく遊んでた
前みたいに
にぎやかな公園に
戻ってほしい
放射線を気にしない
生活は
いつ来るのかな

福島市立蓬萊中学校

一年 三浦 夏恋

「ありがとう」
「がんばれ」
「こめんね」
その一言で
世界が変わる
ちょっと大げさだけど
その一言一言が
大きな愛になって
私達の未来を
変えていく

下郷町立下郷中学校

一年 玉川 和磨

生きていく
雨でぬれようが
風にふかれようが
踏まれようが
私は生きていく
そして人の子を見守る
校庭に咲く一輪の花

いわき市立内郷第三中学校

三年 高木亜沙美

泣かないと誓った。
でも泣きたい時は、
一人で泣く。
誰にも見せない
見せられない。
いつか、誰かの前で
泣ける日が来たら、
その人は
私の悲しみを半分
してくれるだろうか。

福島市立蓬萊中学校

一年 佐藤 圭佑

震災でね
たくさんの命
ながれたよ
大きな波で
ながれたよ
けれどもね
温かい気持ち
ながれてきたよ
みんなの気持ち
ながれてきたんだよ

須賀川市立第二中学校

三年 関根 里菜

君が笑った。僕も笑った。
そこに咲いた笑顔の花はとて
もキレイなんだ。その花を僕
の白紙のページにはさんで、
おしはなにしてとっておこう。
君との思い出のページにはさ
むしおりにしよう。

いわき市立内郷第三中学校

二年 北郷 祥子

生きるということ
それは
笑うということ
そして
仲間がいるということ
支えられていること
平凡な毎日だけ
それも幸せ
私も誰かを
支えてあげたい

福島県立白河実業高等学校

二年 円谷 真也

三月十一日金曜日

突然起こった大震災

あの時は怖かった

どうやって生きようか

生きるには何が必要か

もうこの町を離れなければな

らないのか

怖がりな自分がいた

でももう一人いたんだ

生きたいと思う自分が

福島県立白河実業高等学校

三年 近藤 浩平

それは突然やってきて

多くの命を私達から

うばっていった

そのために悲しみに

くれる人もでた

だけど忘れるな

なくなった人々は

そんなことは望まない

前に進んでいくことを

一番ねがうはずだから



「いのちの詩・愛の詩」入選

福島市立福島第一小学校

二年 佐々木 董
二年 斎藤 飛来
六年 齋藤 透
六年 佐久間健斗
六年 佐藤 理菜

伊達市立掛田小学校

二年 大竹 重貴
六年 岡崎 倖大

二本松市立二本松南小学校

六年 八木沼亜美

二本松市立原瀬小学校

三年 志賀 七海

郡山市立日和田小学校

五年 橋本 千穂
五年 遠藤 隆幸
六年 桑名 愛結

郡山市立行健小学校

六年 近藤 彩乃

郡山市立安積第三小学校

五年 水野 真穂
五年 新村 美菜
五年 柳沼 花
五年 遠藤 翼
六年 佐藤 瑠音
六年 澤村 凧紗
六年 高橋 理子
六年 森谷 友輝

郡山市立桃見台小学校

四年 國分 優輝
六年 岩木まどか

須賀川市立第一小学校

五年 小林 華
五年 高原 結子
五年 阿部 隼也
五年 横田 哲志
五年 橋本 礼央
六年 斧田 千明
六年 田邊 竜斗

須賀川市立柏城小学校

三年 遠藤 一騎
三年 内山 太陽
三年 柳沼虎之介

須賀川市立大東小学校

五年 昆野 碧
五年 吉田 哲大
六年 渡部 拓
六年 小林 亮太

鏡石町立第一小学校

六年 黒羽 光

鏡石町立第二小学校

二年 皆川明日海
三年 諸根 葵

天栄村立広戸小学校

六年 圓谷 将輝

天栄村立牧本小学校

五年 内山 愛梨
六年 森 拓海

石川町立山形小学校

二年 鈴木 美紀

白河市立表郷小学校

五年 大久保雄飛

矢吹町立三神小学校

六年 小針真喜子

塙町立常豊小学校

六年 藤田 陽紀

会津若松市立神指小学校

四年 室井 聖眞

会津若松市立小金井小学校

六年 本多 優花
六年 星 ひかり
六年 成田 純
六年 白井 ゆめ
六年 佐藤 杏奈

喜多方市立第一小学校

五年 大森 百華
六年 三橋 諒大
六年 高島しおり

新地町立福田小学校

二年 小賀坂美雪

二年 高野 愛梨
三年 荒 雄翔

新地町立新地小学校

五年 水戸 颯人
五年 小野華奈海
六年 新聞なつみ

福島市立福島第二中学校

一年 吉川 介人
一年 鶴巢由美香
一年 太宰 里紗
一年 佐久間千宥
一年 鈴木 日菜
一年 行部 綾乃
二年 七宮 舞
二年 武埜 悠汰
三年 浦山 隼

福島市立蓬萊中学校

一年 佐藤 真白
一年 中島 真梨
二年 高橋 帆海
二年 川村 友那
三年 菅野 迅人

須賀川市立第二中学校

三年 酒井 梨紗
三年 杉原 有紗

下郷町立下郷中学校

二年 星 菜緒
二年 小山 芽紅
三年 室井 拓斗

いわき市立内郷第三中学校

一年 根本 莉歩

福島県立須賀川高等学校

二年 村越 加奈

福島県立白河実業高等学校

二年 堀越 李紗
三年 佐藤しおり



一〇〇文字提案

「あたたかい言葉のプレゼント」

「あたたかい言葉のプレゼント」
支部長賞・最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

支部長賞

猪苗代町立千里小学校

六年 半谷 昂大

優秀

二本松市立原瀬小学校

一年 山崎野々香

最優秀

福島市立福島第一小学校

二年 佐藤 倅

郡山市立日和田小学校

二年 宗田 侑大

五年 大塚 好夏

郡山市立行健小学校

二年 石井 陸夢

六年 久保 美宝

須賀川市立大森小学校

六年 石井 亜依

会津若松市立小金井小学校

六年 佐藤 裕理

郡山市立安積第三小学校

六年 阿部紀楽利

檜枝岐村立檜枝岐小学校

六年 平野 生

郡山市立片平小学校

四年 酒井 智哉

新地町立新地小学校

六年 志賀 月海

郡山市立桃見台小学校

一年 須藤 悠斗

福島市立福島第二中学校

二年 長谷部咲子

須賀川市立稲田小学校

六年 鈴木 愛里

須賀川市立柏城小学校

三年 橋本 卓

福島市立福島第二中学校

一年 穴戸 香澄

一年 海野佳奈子

須賀川市立大森小学校

六年 関根 峻真

福島市立蓬萊中学校

二年 佐藤 愛里

須賀川市立白江小学校

五年 磯 秀和

須賀川市立第二中学校

三年 松谷 佳歩

鏡石町立第一小学校

五年 佐久間晴那

西郷村立西郷第一中学校

一年 遠藤あいみ

鏡石町立第二小学校

四年 車田 瑠衣

佳作

天栄村立牧本小学校

三年 黒澤 悠

福島市立福島第一小学校

三年 遠藤あゆみ

五年 寺島 大翔

石川町立山形小学校

三年 添田 琴美

福島市立東湯野小学校

六年 高橋 言汰

玉川村立川辺小学校

四年 矢部きらり

伊達市立掛田小学校

六年 利根川花子

会津若松市立小金井小学校

六年 生江 竜大

喜多方市立第一小学校

六年 田澤ももか

六年 藤田 奏絵

二本松市立原瀬小学校

六年 遊佐美津穂

郡山市立日和田小学校

二年 藤田 花

三年 高橋梨々香

三年 伊藤 叶琳

五年 佐藤 綺海

須賀川市立大東小学校

六年 山田 愛奈

六年 柳沼 蓮

六年 青木 美咲

須賀川市立長沼東小学校

六年 森藤 風香

郡山市立行健小学校

二年 芳賀 碧波

二年 増子 萌香

二年 加藤 優佳

二年 坂井 紘太

二年 緑川 琉稀

須賀川市立白江小学校

三年 古川 円香

六年 本田 宗平

石川町立山形小学校

六年 遠藤 那夏

郡山市立安積第三小学校

六年 榎田 文香

玉川村立川辺小学校

四年 三瓶 愛佳

郡山市立桃見台小学校

五年 佐久間貴子

白河市立釜子小学校

三年 飛知和春那

須賀川市立第一小学校

六年 有我 朋恵

六年 根本 識舞

西郷村立熊倉小学校

五年 佐藤 千明

須賀川市立阿武隈小学校

六年 白石 航大

六年 白石 結菜

塙町立常豊小学校

六年 菊地 里咲

須賀川市立柏城小学校

六年 阿部 愛海

会津若松市立小金井小学校

三年 齋藤 広

「あたたかい言葉のプレゼント」受賞者一覧

三年 塚原 瑠香	一年 山本菜々子
三年 加藤 実果	二年 丹野 舞花
六年 大塚 竜矢	二年 丹野 美咲
六年 小椋 彩夏	三年 柴野 歩佳
猪苗代町立千里小学校	須賀川市立第二中学校
五年 大友 悠貴	三年 鈴木 奈菜
喜多方市立第一小学校	西郷村立西郷第一中学校
五年 中丸奈緒美	一年 齋藤 亜優
六年 星 諒雅	いわき市立内郷第三中学校
檜枝岐村立檜枝岐小学校	三年 原田 拓海
六年 若山菜々子	いわき市立入道野中学校
新地町立福田小学校	三年 酒井 駿人
一年 荒 佑弥	福島県立白河実業高等学校
新地町立新地小学校	三年 渡邉 桃子
六年 寺島友紀奈	福島県立猪苗代高等学校
南相馬市立真野小学校	三年 小椋 亜美
六年 鈴木 稜河	
福島市立福島第二中学校	
二年 菅野 里紗	
二年 安島 縁	
福島市立遠葉中学校	
一年 平川 慶	

「あたたかい言葉のプレゼント」支部長賞

猪苗代町立千里小学校 六年 半谷 昂大

「誕生日おめでとう。」避難する前の担任の先生から、届いた電話。

三月十一日に別れたきり会ってないけど、覚えていてくれてうれしかった。今までで一番、心に残る「おめでとう。」だった。ありがとう先生。がんばるよ。

「あたたかい言葉のプレゼント」最優秀

福島市立福島第一小学校 二年 佐藤 倅

「けい元気ですか？」お母さんは、まい日ぼくにしつもんします。

そして、「パワー入れるよ。」と言ってギュッとだきしめます。

ぼくは、てれるけどでもうれしくなって、元気がでます。お母さんありがとう。

須賀川市立大森小学校 六年 石井 亜依

「ありがとう。」

勇気を出して感謝の言葉を伝えてみると、

「どういたしまして。」

が、笑顔とともにかえってくる。

このやりとりが相手と私をつないで、いつのまにか親友になる。ありがとうってすてき。

会津若松市立小金井小学校 六年 佐藤 裕理

ぼくは、週二回、早めに登校し校門の前で朝のあいさつ運動に参加しています。大きな声で「おはようございます。」と声をかけると返事がもどってくる。あいさつは、一日元気に過ごせる温かい魔法の言葉だと思います。

檜枝岐村立檜枝岐小学校 六年 平野 生

「手伝うよ」と言われたら、持っていた荷物も、心も、軽くなる。

「ありがとう」と言われたら、心がポカポカ温かくなる。

「ごめんね」と言われたら、

相手を許せる気持ちになれる。

言葉のまほうはすごいな。

新地町立新地小学校 六年 志賀 月海

震災時、みんな不安な気持ちをかかえていた時、支援に来てくれる方がたくさんいました。そんな時

「一人じゃないです。」

という言葉に私もみんなもホットしたと思います。ありがとうございました。

福島市立福島第二中学校 二年 長谷部咲子

私は仮設住宅へ支援物資を運ぶボランティアをしました。原発の問題で家を離れなければいけなかった人を前にどう接すれば良いか分かりませんでした。しかし一人の少女が私にこう言いました。

「ありがとう。」と。

「あたたかい言葉のプレゼント」優秀

二本松市立原瀬小学校 一年 山崎野々香

かせつにひっこしたとき、はるかさ
んが、

「いっしょに、あそぼう。」

と、こえをかけてくれました。しって
いるひとはだれもいなかったの、とっ
てもうれしかったです。いまは、いっ
しょのくらすです。

郡山市立日和田小学校 二年 宗田 侑大

ぼくは前の日に、しょうまさんとけ
んかをしました。

でも四十五分ぐらいで、しょうまさ
んに

「さっきはごめんね。」

と、言われて、すごく元気づけられま
した。

こんどはぼくが元気づけようと思ひ
ます。

郡山市立日和田小学校 五年 大塚 好夏

わたしは、保育所にいたころ、先生に、
「よくがんばったね。」

と言われたことがあります。

結果も大事だけど、そこまでの行き
方も大切にするべきだと、わたしに教
えてくれた言葉です。

郡山市立行健小学校 二年 石井 陸夢

ごめん

ぼくは、はしっていて、友だちとぶ
つかりました。そのとき「ごめん。」と
友だちが言ったのでえらいと思ひまし
た。

ごめんと言われるとすぐになかよく
できていいなと思ひました。

郡山市立行健小学校 六年 久保 美宝

「美宝、がんばれ！」母はいつもいい
ところで声をかけてくれる。苦しくなっ
てきた時、あきらめそうになった時……
母の声で私は再び顔を上げる。そして、
迷わずゴールへ向かうんだ。母の言葉
に背中を押してもらいながら。

郡山市立安積第三小学校 六年 阿部紀楽利

大丈夫？ たった五文字の簡単なことば。
でも、大震災をまのあたりにし、机
の下でふるえていた私には、すごく、
心強かった。あたたかい言葉を受けた、
私。今度は、私があたたかい言葉をプ
レゼントしたいなと、思った。

郡山市立片平小学校 四年 酒井 智哉

ぼくの顔にはあざがある。そのあざ
をわらう人がいる。でも友だちが、

「自分が言われていやなことは言っただ
めだ。」

と言ってくれた。

ぼくは相手の人の気持ちを考えられ
る人になりたい。

郡山市立桃見台小学校 一年 須藤 悠斗

がんばってのおてがみありがとうございます。ございます。ぼくが、ようちえんのおおきなじしんがありました。とってもとってもこわかった。てがみをもらってうれしかったです。ほうしやうにまけないでがんばります。

須賀川市立福田小学校 六年 鈴木 愛里

東日本大震災の時水が止まった時に、近所の人の家の前に

「井戸水どうぞ。」

というはり紙がしてありました。みんなが水がとまって大変な時に、こんなやさしいはり紙があつてすばらしいなと思いました。

須賀川市立柏城小学校 三年 橋本 卓

大地しんの日、ぼくはお母さんといっしょに妹のほいく園に食べ物とどけた。さむい風の中みんな外にいた。先生が言った。

「ありがとう。」

ぼくは人のやくにたてて、とてもうれしかった。

須賀川市立大森小学校 六年 関根 峻真

ある日、ぼくは、
「上手にできたじゃん。」

と友達に言われました。いつも失敗しているのに、こんなふうになつて、自信を持ちました。まだ、失敗することもあるけど、「上手にできたじゃん。」を思い出すとがんばれます。

須賀川市立白江小学校 五年 磯 秀和

ぼくが、先生にしかられておちこんでいたとき、お父さんがこう言いました。

「人間、だれにも教わらなくていい天才なんていない、みんなは教わるからこそできるんだ。」

それで元気が出ました。

鏡石町立第一小学校 五年 佐久間晴那

地震の日私はなみだがとまらなかった。

目の前ではあちゃんの

家がくずれ

大地はゆれ

こわかった

でも母と父は

こういった

「大じょうぶだから。」

ありがとう

鏡石町立第二小学校 四年 車田 瑠衣

学校に、おうえんメッセージがとどいた。会ったこともない、顔も名前も知らない。そんな相手からの、おうえんメッセージ。

「がんばれ。」

って、たくさん書いてある。不思議だね。心のそこから元気になる。

天栄村立牧本小学校 三年 黒澤 悠

かいだんを歩いていたらころんじやった。いたくて、しばらくすわってたら、みずきちゃんとあやかちゃん

が
「だいじょうぶ。」

って声をかけてくれた。

ちよっと、いたくなくなったんだ。
まほうみたいな言葉だね。

石川町立山形小学校 三年 添田 琴美

お店の中に、にもつをいっぱいもっていたおばあさんがいた時、中学生の女の子が、「持ってあげます。」とそのおばあさんに一言かけました。わたしは、やさしい中学生だなと思いました。やさしい一言をわすれません。

玉川村立川辺小学校 四年 矢部きらり

わたしは、いつも学校でいろいろなしっぱいをしてしまいます。でも、クラス友だちは、わたしにこう言ってくれます。

「しっぱいすることはだれでもあるんだよ。」

と。だからわたしは、勇気をもらっています。

会津若松市立小金井小学校 六年 生江 竜大

私たちは、日々、言葉の中で生活し、生きてきている。

「大丈夫」

「がんばって」

「よかったね」

そして今、あたたかい言葉への、感謝のお返しをしようじゃないか。

「ありがとう」と。

喜多方市立第一小学校 六年 田澤ももか

あたたかい言葉が、ボールだとしたら、丸くてやわらかいボール。逆につめたい言葉が、ボールだとしたら、トゲトゲしていてかたいボール。言葉もボールと同じだと思う。相手がもらってうれしい言葉はあたたかい言葉。

喜多方市立第一小学校 六年 藤田 奏絵

学校で親友と楽しくしゃべってた時、とつぜん「親友でよかった」って言うてくれたんだ。その時泣きたくなるほどうれしくて、勇気づけられて、自分も親友でよかったと思ったんだ。たった一言だけであたたかい一言だよ。

福島市立福島第二中学校 一年 穴戸 香澄

言葉の箱を開くと、いろんな言葉が入っています。「ありがとう」「こんにちは」などいろいろな言葉が入っています。そして、相手の気持ちも考えながら言葉を選んで出して、話してプレゼントして、届けるのです。

福島市立福島第二中学校 一年 海野佳奈子

私は、小学六年生のとき、担任の先生に、「今みんなつらいかもしれないけれど、これからの福島がバカにされないために、勉強だけはちゃんとやりなさい」と言われました。頑張ろう、と思いました。

福島市立蓬萊中学校 二年 佐藤 愛里

頑張れ
その一言で勇気がわく
ありがとう
その一言で笑顔になる
あきらめるな
その一言が心強くする
なにげない言葉
いつも私を変える
いろんな言葉が
私を支え続けてくれる

須賀川市立第二中学校 三年 松谷 佳歩

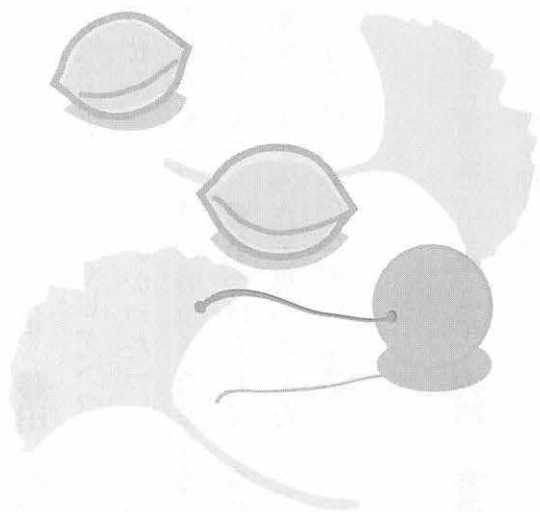
「頑張って？」
ってちょっと重い。
もう充分頑張ってるよ。
頑張りたいくない時もあるのに。

「頑張りがすぎだよ？ちょっと休んだら？」

優しい君にありがとう。

西郷村立西郷第一中学校 一年 遠藤あいみ

「頑張れ」私はこの言葉に何度、勇気づけられたか分かりません。
大事な戦いの時、誰かに「頑張れ」と言われるだけで緊張がなくなりました。
だから私も人を勇気づけられる人間になりたいです。



「あたたかい言葉のプレゼント」佳作

福島市立福島第一小学校

三年 遠藤あゆみ

ほうしや線が心配でプールを見学した。その日の日記に、本当は入りたかった気持ちと、お友だちはプールで楽しめてよかったという気持ちを書いた。先生は「やさしいですね!」と赤ペンで書いてくれた。うれしかった。

福島市立福島第一小学校

五年 寺島 大翔

ぼくは、うんどうもべんきょうもにがてです。なにをやっても、うまくいきません。しっぱいだらけです。でも、「やまどには、いいところがいっぱいあるよ。」と、おばあちゃんはいま

す。だからぼくはがんばれます。

福島市立東湯野小学校

六年 高橋 言汰

ぼくは震災の時「がんばってね。」という言葉テレビでいっぱい聞きました。ぼくはこんなにぼくたちのことを応えんしてくれるんだと思いました。こんなに心がこもった言葉をかけられてとてもうれしかったです。

伊達市立掛田小学校

六年 利根川花子

あの日の一瞬の出来事で人の命、心、笑顔をうばって行った。そんな中、辺りから聞こえてくるのは、「がんばろう。」という声だった。その一言で苦しみが

ら立ち直り、前へ進めた。あの一言は私にとって魔法の言葉だ。

二本松市立原瀬小学校

六年 遊佐美津穂

週二回、校庭三周の体力作りがある。前は三分切れなかったけど今は切れるようになった。校長先生に、「速くなったね。ぬかされないようにするね。」と言われた。うれしかった。校長先生をぬかせるようにがんばろう。

郡山市立日和田小学校

二年 藤田 花

わたしがそとであそんでいたときころんでしまいました。そのとき、ひなさんとみきさんが、

「だいじょうぶ。」
と、言ってくれました。
とても、元気づけられました。

郡山市立日和田小学校

三年 高橋梨々香

大好きな登りぼうから落ちて手をこっせつしてしまった。いたくてたまらなかったけど泣くとよけいに痛くなると思って泣けなかった。でも、先生やみんなに「すごいね。えらかったね。」と言われてわたしは、うれしかった。

郡山市立日和田小学校

三年 伊藤 叶琳

大じしんでとてもこわかった時、遠くにすぶお母さんの友達

が
「おかし食べてね。」
と書かれた手紙とたくさんのおかしを送ってきました。こわかった気持ちがあまくておいしい気持ちになりました。

郡山市立日和田小学校

五年 佐藤 綺海

私が元気づけられた言葉は、「ドンマイ」です。失敗したときなどに、ドンマイとはげまされると、次は成功しようという気持ちになります。私は、このようにはげましてくれる友達に心から、「ありがとう」と言いたいです。

郡山市立行健小学校

二年 増子 萌香

だいすき
だいすきって、いわれると、うれしくて、こころが、あったかくなります。なぜかという、たのしいきぶんになるからです。お友だちにいわれたときが、あります。とてもうれしかったです。

郡山市立行健小学校

二年 坂井 紘太

ありがとう
ぼくは、おとうとおかしをゆずったときに、「ありがとう。」と言われて、うれしかった。ぼくにとって、おとうとは、とてもたいせつな人です。

郡山市立安積第三小学校

六年 榎田 文香

地震があった時、全国の人から、「がんばって」とか「みかただよ」というメッセージがきた。「みかただよ」のメッセージで私は、みんなからみはなされてなうと感じた。だから私は、全国のみんなにこう言いたい。「ありがとう」って。

郡山市立行健小学校

二年 芳賀 碧波

先どうぞ
こうていのゆうぐであそんでいると三年生の女の子にすべりだいを「さきどうぞ。」といわれてうれしかったです。

郡山市立行健小学校

二年 加藤 優佳

大きくなったね
わたしは、おじいちゃんに、大きくなったねと、言われました。とてもうれしい気持ちになりました。もっと大きくなっておじいちゃんをよろこばせたいと思います。

郡山市立行健小学校

二年 緑川 琉稀

ありがとう
ぼくがころんだときに、おとうさんが、「だいじょうぶか。」と言ってくれてうれしかった。そしてばんそうこうをはってくれた。おとうさんは、やさしいなあ。おとうさんありがとう。

郡山市立桃見台小学校

五年 佐久間貴子

震災の後、学校に行った最初の日「つらいことがあるよ。」先生にもらった言葉。私は、がんばろうと思った。そして、暗くなっていた私の心を希望の明かりが照らしてくれた。私の大切な言葉。

須賀川市立第一小学校

六年 有我 朋恵

東日本大震災の時、各地で地震がおきて、水道が止まって困っていた時、近所のおばさんが、「この井戸水をぜひ使って井戸水だから役に立つから分らないけど。」
と言ってくれた。なんだか心がほわっとした。

須賀川市立阿武隈小学校

六年 白石 航大

あたたかい言葉のプレゼントをもらったのは、東日本大震災の後で見たテレビの中で、他の県にすんでいる人が言った言葉です。
「わたし達は、ずっとみなさんといっしょですよ、おうえんしています。」という言葉です。

須賀川市立柏城小学校

六年 阿部 愛海

震災から一年が経った。辛かった。苦しかった。でもそれ以上に復興に協力してくれた人の優しさや思いやりのほうがずっとずっと大きくて温かった。
私達は大きな恩返しはできないけど、「ありがとう。」と伝えたい。

須賀川市立大東小学校

六年 柳沼 蓮

ぼくが子守りをしていて、疲れたから「もう終わり。」と言うと、お母さんが、「お兄ちゃん、がんばれ。」と言った。お母さんの一言でやる気が出てきた。お母さんの言葉は、いつもぼくにやる気とエネルギーをくれる。

須賀川市立第一小学校

六年 根本 識舞

「よかった。」友達の心の底からの「よかった。」は、一枚の手紙だけと心に残る。友達は仙台にいた。私は心配になり手紙をだした。しばらくすると返事がきて「よかった。」とかいてあった。短いコトバだけど、一生わすれない。

須賀川市立阿武隈小学校

六年 白石 結菜

「ありがとう」そのあたたかい言葉で、笑顔が一つ、また一つと増えていく。
ありがとうが増えれば笑顔も増えていく。「ありがとう」をたくさんの人に、プレゼントしよう。

須賀川市立大東小学校

六年 山田 愛奈

水泳の練習をしていると、「前より上手になったね。」と先生に言われた。私はとてもうれしかった。そんな言葉をかけられて、びっくりした。私の心の中に、「これからもっとがんばろう。」そんな勇気がわいてきた。

須賀川市立大東小学校

六年 青木 美咲

私は器楽部。「今日から、パートリーダー。」と言われ、不安だった。そんなとき、ほかのパートリーダーから「一緒にがんばろう。」と言われた。私の心の中に小さな花が一つ咲いた。これからもそんな小さな花を心に咲かせたい。

須賀川市立長沼東小学校

六年 森藤 風香

「がんばって。」

の言葉で私は勇気が出ました。

私が水泳交歓会で、選手に選

ばれたとき、すごく不安でした。

だけど、「すごいじゃん。がんばっ

てー」この友達の言葉で、私は、

優勝しようと思いました。

須賀川市立白江小学校

六年 本田 宗平

ぼくは心に残る言葉は、マン

ガ「ワンピース」の「仲間がい

るよ」という言葉です。

なぜかという、一人ではで

きなくても、二人や三人いれ

とてもよくできるので、ぼくは

このことばは、いいと思います。

須賀川市立白江小学校

三年 古川 円香

きょ年、東日本大しんさいで

多くの人のいのちがうばわれま

した。不安をかんじたわたしは

テレビである言葉を聞きました。

それは「希望」という言葉です。

わたしは、あたたかい言葉だな

と思いました。

石川町立山形小学校

六年 遠藤 那夏

私は、お昼休みに一輪車をし

ていた時、

「すごい、天才」と同級生のみん

なが声をかけてくれた一言。

私は、とてもうれしくなり、

今も一輪車に乗ることがとても

楽しい。この一言から自信もも

らえたと思う。

玉川村立川辺小学校

四年 三瓶 愛佳

私は、お母さんに、元気づけ

られることをいわれました。そ

れは、

「まなかがいるからママはがんば

れるんだよ。」

その言葉を聞いて、私は、勉強、

バスケット、じゅく、ピアノをがん

ばろうと思いました。

西郷村立熊倉小学校

五年 佐藤 千明

「なんとかなるから心配しなく

ていいよ。」

と、お母さんがはげましてくれ

た。そのとき、私の心があたた

かくなった。心配ごと、頭か

ら風にふき飛ばされたようにす

うっとぬけていった。なんでだ

ろうふつうの言葉なのに。

白河市立釜子小学校

三年 飛知和春那

「うまれてきてくれてありがと

う。」すてきな言葉です。お母さ

んが大切にうんでくれたことが

わかります。おふろにはいって

やさしくだいてくれました。う

れしかったです。うまれてきて、

本当によかったです。

西郷村立熊倉小学校

五年 吉田 未瑠

私は家族の中でも一番きずつ

きやすい。小さい時なんか、「変

な人。」と言われただけでも家で

大泣きしてた。その時にお姉ちゃ

んが手紙をくれた。そこには、

「みんなみるの笑顔がみたいはず

だよ。」

私はその言葉で勇気がでた。

埴町立常豊小学校

六年 菊地 里咲

「一緒に遊んでくれてありがとう。」

幼稚園の子たちが言ってくれた。一緒に遊んだら私の方も楽しかったのに。ありがとうを言われたら、楽しい気持ちさがらにあたたかい気持ちになった。

会津若松市立小金井小学校

三年 齋藤 広

ぼくが昼休みに一人であそんでいる時に、あゆむくんのおにさんが、「どうしたの。そこで一人であそんでいるんだ。いっしょにあそんであげる。だいじょうぶ。」といってくれました。うれしい言葉でした。

会津若松市立小金井小学校

三年 塚原 瑠香

わたしにあたたかい言葉をおくってくれた人は、電車でせきをかしてくれたおばあさんです。おばあさんが、

「北の方向にすすむと、トンネルがいっぱいあるんだよ。」
と言ってくれました。

うれしかったです。

会津若松市立小金井小学校

三年 加藤 実果

わたしは、朝登校する時や、下校するときに、「いってらっしゃい学校がんばってね。」や、「おかえり学校がんばったね。」など、近所の人や、すれちがった人にうれしい言葉をもらえてすごうれいです。

会津若松市立小金井小学校

六年 大塚 竜矢

ぼくは、いつも何かに失敗してしまった時に、お父さんから「やる気を出せばできる。できる力をもっているんだから。」と言われている。

ぼくは、この言葉で次がんばろうという気持ちになります。

会津若松市立小金井小学校

六年 小椋 彩夏

私は、近所のおじいさんとおばあさんにあいさつをしています。

あいさつをするといい気持ちになります。相手の方も私がいさつをする、笑顔で返してくれます。私の言葉のプレゼントは、あいさつと笑顔でした。

猪苗代町立千里小学校

五年 大友 悠貴

登校中、「おはよう。」「おはようございます。」なぜか、とてもいい気分になった。町の人に「おはよう。」とたくさん言われ、ぼくも返じをする。学校に行くのが、とても楽しくなってきた。おはようという言葉は、いい言葉だ。

喜多方市立第一小学校

五年 中丸奈緒美

「ありがとう」
お母さんの口ぐせ
自分の食べた食器を持っていくと

「ありがとう」
私はついつい乗せられて、みんなもついていく

やりたくないのに
「ありがとうね、掃除」
やるしかないじゃない。

喜多万市立第一小学校

六年 星 諒雅

東日本大震災ではたくさんの方の命とたくさんの方の思いが津波に流された。多くの家の近くにも放射能からにげて来た人が住んでいる。ぼくはその人たちに心から「がんばれ」と言う言葉をかけてあげたい。

新地町立福田小学校

一年 荒 佑弥

「ただいま。」
と、ぼくがいうと
「おかえり。」
と、おかあさんのこえ。
しんさいご、せいかつがかわって
「ただいま。」
と、おかあさんのこえ。
「おかえりなさい。」
とぼくはいう。

檜枝岐村立檜枝岐小学校

六年 若山菜々子

けんかした時に、私は「ごめんね」を言わなかった。そしてけんかした子が「ごめんね」を言ってくれた。その時私は心の中がすごく温かった。だから私も「ごめんね」を言った。その子はすごく笑顔になっていた。

新地町立新地小学校

六年 寺島友紀奈

私は震災の時に避難所にいました。電気もない、水道も使えない所で「がんばってね」と言っ
て毛布をくれた人がいました。その温かい言葉で私の心も温かくなりました。
言葉っていいなあとあらためて思いました。

南相馬市立真野小学校

六年 鈴木 稜河

ぼくはこのしん災で島根にひなんしました。そこで、出会ったボランティアの方に支えられながら、こんな言葉をもらいました。「ぼく達は、ずっとつながっているからね。」その言葉でぼくは、ほっとした気持ちになりました。

福島市立福島第二中学校

二年 菅野 里紗

三・一一。みなさんはこの日を忘れたことはないだろう。たくさんの方がなくなりましたがその分、たくさんの方の言葉であふれている。「がんばろう福島」「たくさんの方の笑顔」など、多くの人々に私たちは支えられている。

福島市立福島第二中学校

二年 安島 縁

今日、小さな命が産まれました。かわいい女の子です。新しい、私のいここです。

その子のお母さんが優しい声で言いました。「産まれてきてくれてありがとう。」

福島市立遠葉中学校

一年 平川 慶

「当たり前」の言葉が言えるあなたは、素晴らしい」

母からの言葉

「ありがとう」

「ごめんなさい」

「どうしたの？」

「大丈夫だよ」

当たり前の言葉、だけど誰かを救えているって

福島市立蓮葉中学校

一年 山本菜々子

「わかってるよ。」たったその六文字が私を救った。同情だけじゃない、家族からの家族なりの何か愛情のようなものを感じたからだ。それを聞いた瞬間心があたたかくなった。だから今この五文字を伝えたい。ありがとう、と。

福島市立蓮葉中学校

二年 丹野 美咲

「心配することないよ。おまえは頑張れる子なんだから。」震災や勉強のストレスがたまっていたとき、おばあちゃんが言ってくれたこの何気ない言葉で私は、まずは自分の出来ることからと前向きな気持ちになりました。

福島市立蓮葉中学校

三年 柴野 歩佳

私のおばあちゃんとお母さんは、私が悩んでいる時、強くて優しい言葉をかけてくれます。「生きていれば嫌なこともあるけど、人生は一度しかないんだから強く生きなさい。」強く、それ以上にあたたかい言葉でした。

修学旅行の時、東京の人にどこから来たの？と聞かれた。原発事故もあったし、少しどきどきしながら福島です。と答えた。

「頑張ってるね。」と言われた。とても嬉しくて、みんな笑顔になった。

須賀川市立第二中学校

三年 鈴木 奈葉

震災から一年、今までもたくさんの方があたたかい言葉をかけてくれる。「大丈夫？」「一緒に頑張ろう」そんな言葉に励ましてもらいながら、今日も一步一步少しずつ、復興へ。たった一言が、勇気をくれるプレゼント。

いわき市立内郷第三中学校

三年 原田 拓海

修学旅行で鎌倉に行った。そこでたくさんの人に「大変だったね。」や「がんばってね。」と言われた。こんな離れた場所からも、励まされ、応援されているかと思うと、不思議な気持ちになった。そして心が熱くなった。

西郷村立西郷第一中学校

一年 齋藤 亜優

私が元気づけられた言葉は、こんな事できない、もう無理かもと思った時に母が言ってくれた「亜優ならできる。」という言葉です。私は、この言葉を聞き、色々な事を乗り越えてきたので、母には、とても感謝しています。

いわき市立入道野中学校

三年 酒井 駿人

僕が忘れ物をすると、先生に怒られます。でも、それは怒られているんじゃないかと将来、苦労しないように僕のために送っているエールなんだと気づき、次、頑張ろうという気になりました。こう思います。「先生、ありがとうございます。」

福島県立白河実業高等学校

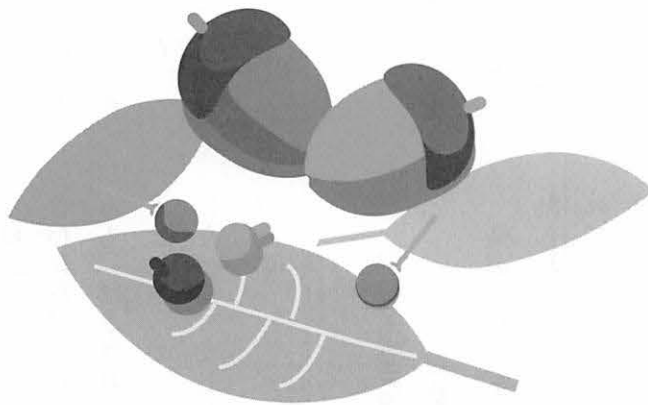
三年 渡邊 桃子

「頑張ってね、応援してるよ」と修学旅行先で言われた言葉が今でも印象に残っています。放射能の影響で私たちを敬遠する人たちが少なからずいて、福島から出ることによって不安で一杯だった私には、魔法の一言でした。

福島県立猪苗代高等学校

三年 小椋 亜美

私は昨年のＴ・Ｃで東京の二子玉川駅周辺で福島産のナシを配りました。その時にナシを受け取った人から、「辛いかもしれないけど頑張って」と励まされ、改めて頑張ろうという気持ちになりました。



「あたたかい言葉のプレゼント」入選

福島市立福島第一小学校

三年 立花 怜央

四年 穴戸華奈子

五年 三瓶 寧々

六年 安藤 太朗

伊達市立掛田小学校

二年 吉田 祥真

二本松市立二本松南小学校

六年 武田さきえ

二本松市立原瀬小学校

五年 馬場 陽

五年 三瓶 凌佳

六年 志賀 海音

郡山市立日和田小学校

二年 峯田 来倅

二年 今井 優希

三年 高野 虹美

五年 遠藤 大致

五年 酒井 涼

五年 佐藤 樹

郡山市立行健小学校

二年 橘内 海斗

二年 田中 浩喜

二年 星 美優羽

二年 齋藤 怜

六年 森 歩花

郡山市立安積第三小学校

六年 濱津 光裕

六年 熊田 悠希

六年 井上 大輝

郡山市立桃見台小学校

一年 渡部 芽瑠

一年 曾我 和花

二年 國分 智輝

三年 佐藤 結生

三年 伊東 風香

五年 高橋みなみ

六年 齋藤 里菜

六年 佐藤 里英

須賀川市立第一小学校

五年 伊藤 類

六年 奥村 盟

須賀川市立稲田小学校

六年 石井ことみ

須賀川市立小塩江小学校

六年 相樂明日香

須賀川市立阿武隈小学校

六年 岩谷 莉菜

六年 大越 美紀

須賀川市立柏城小学校

三年 大山奈々花

六年 福島 菜月

須賀川市立大東小学校

三年 矢内 志拓

三年 松谷 紗羽

六年 堀井 彩音

六年 宗形 孝樹

須賀川市立大森小学校

六年 石井 颯人

須賀川市立白江小学校

一年 相楽 泰

一年 本田 莉菜

五年 本田 温人

六年 仲西 亜季

鏡石町立第二小学校

四年 村越 璃子

五年 根本 珠璃

天栄村立大里小学校

六年 高嶋すみれ

六年 大野 蒼

天栄村立牧本小学校

二年 鈴木 康生

四年 鈴木 陽奈

五年 幡谷 友香

六年 鈴木 萌々

天栄村立湯本小学校

六年 小山 海斗

白河市立信夫第一小学校

六年 小磯 潤也

西郷村立熊倉小学校

五年 鎗水 麻衣
五年 小山田彩美

矢吹町立三神小学校

五年 吉田 悠莉
五年 小林 柊音

矢祭町立石井小学校

六年 白石紗也加

会津若松市立小金井小学校

三年 成田 暁
三年 高木 歩夢
三年 遠藤 優陽
六年 五十嵐寛香
六年 佐々木愛叶

会津若松市立河東学園小学校

五年 芳賀 彩華
六年 鈴木 真奈

喜多方市立第一小学校

二年 芥川 優心
六年 渡部 愛衣

檜枝岐村立檜枝岐小学校

六年 星 高峰

新地町立福田小学校

四年 加藤 広樹
五年 荒 美祐

新地町立新地小学校

六年 大堀 葉月
六年 新妻 理可

福島市立福島第二中学校

一年 秋山 舜
二年 遠藤 菜奈
二年 山口 みゆ
二年 千葉瑠美奈
三年 石井あずみ

福島市立蓬萊中学校

二年 古戸希良楽
二年 加藤沙和子
二年 清野 結愛
三年 岩脇 涼夏
三年 佐藤 遥香
三年 庄司千菜津
三年 渡邊 彩芽

下郷町立下郷中学校

一年 石川菜々子

いわき市立内郷第三中学校

一年 馬場 菜摘

いわき市立入遠野中学校

三年 折笠 正哉

福島県立福島工業高等学校

二年 伊東 圭介

福島県立白河実業高等学校

三年 池田 光

福島県立いわき総合高等学校

二年 亀崎 綾菜

一〇〇文字提案

「わたしのボランティア」

「わたしのボランティア」
支部長賞・最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

支部長賞

鏡石町立第一小学校

六年 中島 李葉

西郷村立熊倉小学校

五年 大迫 由奈

優秀

福島市立福島第一小学校

最優秀

福島市立福島第一小学校

三年 梅津 千載

二本松市立原瀬小学校

四年 庄司 彩樺

本宮市立五百川小学校

二年 佐藤さくら

郡山市立桃見台小学校

六年 山辺 尚子

須賀川市立稲田小学校

六年 有馬 未来

須賀川市立柏城小学校

五年 吉田 愛羽

鏡石町立第一小学校

六年 菊地 咲良

六年 高原 凜太

会津若松市立小金井小学校

六年 星 政聡

喜多方市立第一小学校

五年 皆川かなみ

五年 二瓶 胡桃

福島市立福島第二中学校

三年 渡邊 海翔

須賀川市立第二中学校

三年 橋本 彩花

佳作

福島市立福島第一小学校

三年 村上 春奈

四年 久間木孝成

六年 吉田 雅弥

六年 酒井 智哉

二本松市立二本松南小学校

五年 杉内 浩介

二本松市立原瀬小学校

五年 前田 健寿

本宮市立五百川小学校

二年 河原 彩乃

三年 橋本 悠也

四年 関 歩夢

五年 國分明々乃

六年 遠藤 葉

六年 武田 信悟

六年 松本 奈津

郡山市立安積第三小学校

五年 福島 梨寿

六年 滝口 京佳

郡山市立片平小学校

五年 佐藤 玲依

須賀川市立稲田小学校

六年 斎藤 寧々

須賀川市立阿武隈小学校

六年 細谷 唯香

六年 佐藤 綾夏

須賀川市立柏城小学校

三年 島木 優斗

六年 根本 聡太

六年 榎本 リカ

須賀川市立大東小学校

六年 金澤 玲奈

六年 佐藤 晴輝

須賀川市立大森小学校

六年 大柿 由決

鏡石町立第二小学校

五年 正木 咲来

天栄村立牧本小学校

六年 添田 雄大

白河市立表郷小学校

四年 蓮田愛結美

白河市立信夫第一小学校

六年 縄田 彩乃

矢祭町立下関河内小学校

五年 寺島 尚哉

五年 藤田 皓大

会津若松市立小金井小学校

四年 山岸 弥季

六年 島田友里佳

猪苗代町立千里小学校

六年 遠藤 雅弥

喜多方市立第一小学校

五年 宮川 葵祐

六年 長谷川南未

新地町立福田小学校

二年 齊藤 陽菜

新地町立新地小学校

五年 菅野 貴斗

福島市立福島第二中学校

一年 木下 朋香

福島市立蓬萊中学校

三年 五十嵐健人

下郷町立下郷中学校

二年 渡部 麻由

いわき市立入遠野中学校

二年 上遠野温城

「わたしのボランティア」受賞者一覧

福岡県立いわき総合高等学校

二年 長谷川 汐里

福岡県筑城第一高等学校

三年 鈴木 奈都美

「わたしのボランティア」支部長賞

鏡石町立第一小学校 六年 中島 李葉

東日本大震災の後、近所の水が止まっていることに気付いた。私の家は井戸水なので大丈夫だった。母に許可をもらって、私は近所の家に一軒一軒、声をかけて回った。

「うち、水が出ますよ。」

みんな喜んでくれた。

「わたしのボランティア」最優秀

福島市立福島第一小学校 三年 梅津 千載

ぼくのチョボラは、みんなが使うぞうきんをたたんで、きれいにならべることです。きれいにしておくと、みんなが気持ちよく朝のほうし活動に行くことができます。学校がきれいになるように、毎日つづけていきます。

二本松市立原瀬小学校 四年 庄司 彩樺

わたしは、かせつじゅうたんにくらしています。わたしのボランティアは近くにおちているゴミをひろうことです。ゴミをひろうときれいになります。その時は、目の前が、とても広く見えてうれしいです。

本宮市立五百川小学校 二年 佐藤さくら

かせつじゅうたんにすんでいるみなさん、元気ですか。わたしたちは、元気になってくれるようにプランターにメッセージを書いたり、スタンプをおしたりしました。お花を見てなごんでくださいね。

郡山市立桃見台小学校 六年 山辺 尚子

私は震災の時地域の方々と炊き出しをやりました。一日おにぎりを百個位握ったりカレーを作ったりしました。どんな料理でも笑顔で「おいしいよ」と言って食べてくれてその嬉しそうな顔を見たら私も嬉しくなりました。

須賀川市立福田小学校 六年 有馬 未来

地域体育館に避難した。避難してきた人同士で、「がんばりましょう。」と声をかけ合い、協力して水をくむ手伝いをした。私もお年よりの方にゆたんぽを作って運んだ。小さなボランティアができた。

西郷村立熊倉小学校 五年 大迫 由奈

わたしは自転車に乗ってる時一人のおばあちゃんを見かけた。道路の真ん中にいた。「目が見えないの。」

わたしは自転車からおり、手をつなぎ、道案内をした。おばあちゃんは、「ありがとうね。」とにっこり笑った。

「わたしのボランティア」優秀

福島市立福島第一小学校 一年 梅津 千莉

わたしは、ほうしかつどうで、たいいくかんのゆかをふきます。ひろくたいへんだけど、みんながきれいなところで、たくさんあそべるとたのしいとおもいます。そうじがおわると、すつきりしてうれしいきもちです。

福島市立福島第一小学校 三年 亀倉 諄哉

ぼくのマンションは月末の日曜日の朝は、マンションのそうじでかくはんの人のせいそう場所がきまっています。ぼくもそうじをいっしょにしています。ぼくにはこれぐらいのことしかできないけど、がんばりたいです。

福島市立福島第一小学校 六年 草野 龍哉
ぼくは、ユニセフば金活動で四時間

近く、「ば金」ご協力お願いしまーす。」

とさけびながら立っていた。するとある人ががんばったねといわれうれしかった。人のために活動する大切さを改めて知った。ありがとう、お母さん。

本宮市立五百川小学校 三年 佐藤 愛華

全校ボランティア活動で朝顔を植える。プランターを作りました。わたしがたん当したのは、プランターをかざるためのスタンプ作りです。しんさいにあったみなさんに、緑のカーテンを作ってくださいです。

本宮市立五百川小学校 三年 白田 悠生

かせつじゅうたくのみなさんが、すずしくなるようにと思ひながら活動しました。ぼくは、タコとイルカとイカ

のスタンプを作ってプランターにおしました。このプランターの絵を見て夏をすずしくすごしてください。

本宮市立五百川小学校 五年 武田 佳乃

仮設住宅の人たちにおくるためにプランターに絵付けをしました。

班のみんなで思いをこめて一生懸命作ったので、仮設住宅に届いて、きれいな花が咲き、仮設の方々が、笑顔になってくれると、わたしもうれしいです。

本宮市立五百川小学校 六年 兼谷明日香

私は、ボランティア活動を通して、改めて気持ちを込める事が大切だと思いました。プランターにスタンプを押す時、これを見て元気になってもらえたらなと思いました。仮設住宅の皆様には、元気に過ごしてほしいです。

郡山市立桃見台小学校 四年 橋本 慧和

いなわしろ湖のゴミ拾いをした。みわたすかぎり、ビンやおかしのふくろ。そんな物ばかり。でもゴミを拾ったら、みちがえるようにきれいになった。まるでいなわしろ湖がわたしにありがとうといっているみたいだった。

須賀川市立第一小学校 六年 佐藤 大地

東日本大震災で家がこわれ、ひなん所に約三週間お世話になりました。ひなん所で、そうじや、食べ物くばるボランティアをしました。そうじをしていると、ひなんしている人が、「ありがとう」、とても、うれしかった。

須賀川市立稲田小学校 六年 橋本 拓実

ぼくがしたボランティアは、学校の体育館に道具を運んだ事や、家から落ちた屋根のかわらを運んだ事です。震災があったので初めてのボランティア活動でした。ぼくの力が人の役にたててうれしかったです。

須賀川市立柏城小学校 五年 吉田 愛羽

私は、今年福祉委員になり、今まで気づかなかったちよっとしたことを心がけるようになりました。ごみが落ちていたらひろう、じゃ口の向きをしたにするなど、誰も気づかないと思うけど、続けていこうと思います。

鏡石町立第一小学校 六年 菊地 咲良

わたしが東日本大震災で実行したことは、坂の上のおばあちゃんに水を届けることです。給水場までは坂を上り下りするので、おばあちゃんに水を届けていました。届けると、いつも喜んでくれました。

鏡石町立第一小学校 六年 高原 凜太

ぼくは大震災の後、父と何度も水くみに行った。あのころ、母のおなかの中には弟がいた。重いものを持たせたり、動いたりさせなくなかったからだ。それまであまり手伝いはしてなかったけどあの時はがんばったなあ。

会津若松市立小金井小学校 六年 星 政聡

ぼくのひみつは、学校に早く来て校門前の花だんに水やりをしていること。でも、毎朝早く来て水やりするのは大変だけど学校の花だんのためにも毎朝がんばってる。なので、花だんは、あらさないようにしてください。

喜多方市立第一小学校 五年 皆川かなみ

昼休み、習字のすみと絵の具が水道についていました。わたしは、きたないからすみと絵の具を落としていました。すると、友達が来て、「えらいね。」と言ってくれて、とてもうれしかったです。

喜多方市立第一小学校 五年 二瓶 胡桃

私は、自分ができるボランティアをする。声をかけ、はげます、荷物をもつ、そうじをする、ごみがあったら拾う。これが私にできるボランティア

みんなのためにもボランティアをやろう

福島市立福島第二中学校 三年 渡邊 海翔

今回の大震災があり僕は、避難所へ行き、体育館のごみ拾いをしました。実際に、被災者の方々と、交流して、「ありがとう」と言ってもらえて、初めて、ボランティア活動をして良かったな、と感じることができました。

須賀川市立第二中学校 三年 橋本 彩花

私は自分の住んでいた地域のごみ拾いに何度か参加したことがあります。そして自分たちで町をきれいにすると心も清くなった気がして、気持ち良いです。これから進んでボランティアに参加していきたいと思いました。

「わたしのボランティア」佳作

福島市立福島第一小学校

三年 村上 春奈

わたしは、日本ぶようを習って
いてろう人ホームやろう人会
の人たちの前でおどっています。
お年よりの人たちがなみだを
ながしてはく手してくれるので、
わたしはうれしくてまたがんば
ろうと思います。

福島市立福島第一小学校

六年 吉田 雅弥

ぼくのボランティアは、朝早
くきた時に、机がずれていたら、
なおしてることです。机がそろっ
ているとみんながきもちよく勉
強や学校生活もできるのでこれ
からも、朝早くきてつづけてい
きたいです。

福島市立福島第一小学校

四年 久間木孝成

ぼくは学校で毎週火曜日朝の
ほうし活動をしています。ぼく
がやることはぞうきんがけです。
ちよっとしたことだけれど、
きれいになるし、体力もついて、
一石二鳥です。これからもがん
ばりたいです。

福島市立福島第一小学校

六年 酒井 智哉

ぼくのボランティアは、気付い
たときに、本だなの本をなおす
ということです。なぜなら他の人が
見たい本を探すのに本がぐちゃぐ
ちゃだったら見つけにくいからで
す。なので、これからもこのこと
を続けていきたいです。

二本松市立二本松南小学校

五年 杉内 浩介

僕は、毎週土日、家の近くの
ごみ拾いをしています。
何度も行っているけれど、ゴ
ミがない日は一度もありません
でした。
同じことのくり返しだけど、
これになるべく続けていきたい
です。

二本松市立原瀬小学校

五年 前田 健寿

ぼくは今、仮設に避難してい
ます。支えん物資があった時に
重かったのはいっしょに家まで
運んであげました。運び終わる
とおじさんとおばさん達が「あ
りがとう。」と言ってくれました。

本宮市立五百川小学校

二年 河原 彩乃

プランターにつけるスタンプ
をつくりました。さかなとヒト
デのスタンプをつくりました。
色をつけたらプランターがうみ
の中のようにになりました。
ひなんした人たちによるこん
でほしいです。

本宮市立五百川小学校

三年 橋本 悠也

かせつじゅうたくの人たちに
緑のカーテンを作ってもらいた
めに朝顔をうるるプランターを
作りました。手紙を書いたん当
をしました。ていねいな字で書
きました。この朝顔で、楽しい
夏がすごせるといいと思います。

うれしいので続けたいと思いま
す。

本宮市立五百川小学校

四年 関 歩夢

プランターでアサガオの緑のカーテンを育てて、ひさい地の方々に、送ることになりました。わたしたちのやった小さな事が、ひさい地の方々には、大きな力になれたら、とてもうれしいと思います。

本宮市立五百川小学校

五年 國分萌々乃

学校で、仮設住宅にいる人々に自分たちオリジナルのプランターを作り、あさがおを植えて送ることになった。わたしは手紙を担当した。なれない場所では生活する人々が少しでも元気になるように心をこめて活動した。

本宮市立五百川小学校

六年 遠藤 栞

私は、プランターに宇宙の絵

を書き、朝顔の花を植えて、仮設住宅に住む方々へ送った。

私はこれを見た人たちが、希望を持ち、ずっとずっと、笑顔で元気に、生活を送ってもらいたいと思った。

本宮市立五百川小学校

六年 武田 信悟

仮設住宅の方に送る手紙を書いたり、朝顔のプランターに絵をかくたりしました。一年生から六年生まで協力して、一生けん命作りました。避難された方々に、少しでも喜んでもらい、笑顔になってほしいと思います。

本宮市立五百川小学校

六年 松本 奈津

めあて「心をこめて作る」ができた。仮設住宅の人達が私達のメッセージ「お体を大切に」を見てがんばってくれたらと思う。絵は見たら暑い夏でも涼

しくなるような金魚にした。仮設住宅の人達を喜ばせてあげたい。

郡山市立安積第三小学校

五年 福島 梨寿

わたしのしているボランティアは、犬のぼ金です。震さいの後たくさん犬が、命を失っているテレビで見ました。それから、少ないけど、お金をためて、ぼ金をできるように、しています。これからもぼ金をします。

郡山市立安積第三小学校

六年 滝口 京佳

私が行ったボランティアは、ぼ金です。東日本大震災で、家などをうしなった方の役にたつと思って自分のおこづかいからぼ金をしました。まだ完全に復こうしたとは、言えないので、これから、ぼ金をつづけます。

郡山市立片平小学校

五年 佐藤 玲依

私はいつも、お買い物のおつりを、募金するようにしています。

ちょっとした事だけど、続けていけば、きっと大きな額になると思います。そのために、これからもずっと、おつりの募金を続けたいと思います。

須賀川市立福田小学校

六年 斎藤 寧々

私は、大震災でくずれたへいの小さな一部や大きな石などを拾っています。

歩いている人が転んだり、車道に落ちている場合は車が通ってない時には、危ないので拾って近くの場所に捨てています。

須賀川市立阿武隈小学校

六年 細谷 唯香

わたしの家ではペットボトルのキャップを集めています。

なぜ集めてるかというところ、開発途上国の子供たちのワクチンになるからです。一分のワクチンに必要なのはキャップ八百個です。
がんばって集めます。

須賀川市立柏城小学校

三年 島木 優斗

ぼくは、ペットボトルのキャップをあつめています。

キャップをあつめると、ワクチンになるからです。学校や、家でもたくさんキャップを集めて、一つでも多くのワクチンにしたいです。

須賀川市立柏城小学校

六年 榎本 リカ

わたしのチョボラは、ペットボトルキャップ、プルタブ集めです。

集めて学校にもっていきます。これだけで人助けになるって、すごくうれしいです。
みんなもうれしい自分もうれしいのが、私のチョボラです。

須賀川市立大東小学校

六年 佐藤 晴輝

ぼくは、以前お年寄りに道を聞かれた。ぼくは、目印になる店や看板をできるだけ詳しく教えた。するとお年寄りは、「ありがとう。」と、何度も何度も頭を下げた。ぼくの心の中に、さわやかな風がふきぬけていった。

須賀川市立阿武隈小学校

六年 佐藤 綾夏

私のボランティアは、近所の人々との交流を深める事です。きん急事態の時、近所の人々が助けてくれたりするからです。よく出来た野菜などをやると、何日かたってお礼に家がない野菜をくれたりし、少しずつ近所の交流は始まっていきます。

須賀川市立柏城小学校

六年 根本 聡太

ぼくは、福祉委員会で委員長をやっています。小さなことからコツコツとを目標にがんばっています。チョボラではプルタブ、キャップ集めとごみひろいをしていきます。柏城小から福祉の輪を広げていくように努力します。

須賀川市立大東小学校

六年 金澤 玲奈

私の通学路には、ごみがたくさんあります。でも昔はごみがなく川もきれいだったとおばあちゃんが言っていました。私は、地域の清掃に進んで取り組んで、昔のように川の水がきれい、自然豊かな町にしたいです。

須賀川市立大森小学校

六年 大柿 由決

ぼくは今回の東日本大震災が起きてから、スーパーなどにおいてある募金箱に募金をしています。このお金が被災した東北三県に届くといいなと思います。いつでも募金しています。みなさん復興に向けてがんばりましょう。

鏡石町立第二小学校

五年 正木 咲来

わたしは、去年にほいくえんにボランティアに行きました。

ちっちゃい子がたくさんいていっぱいあそんでとてもたのしかったです。

今年も行きますが、今年は、一番大きい子の所に行ってみていな。

白河市立表郷小学校

四年 蓮田愛結美

わたしは、四月一日につなみにあったいわき市行って、クローバーの種をまきました。「このクローバーで、つなみにあった人たちに元気やえがおをとりたい。」と、小さな種に願いを込めて巻きました。

天栄村立牧本小学校

六年 添田 雄大

三月十一日に、はげしいゆれと、あの巨大津波。ぼくはびっくりしました。そして、ぼくはみんなのためにボランティアをしようと思いました。そして、かべがくずれて危ない所をしらせるボランティアをしました。

白河市立信夫第一小学校

六年 縄田 彩乃

私は、この大震災で、大変な人達が、まだまだいると思います。

ボランティアは、続けていく事が大切だと思うので、ぼ金や、自分のできることを、たくさんやっていて、大人まで続けていきたいと思っています。

矢祭町立下関河内小学校

五年 寺島 尚哉

ぼくは、毎週火曜日に水道洗いをしています。時々わすれる時もあるけど学校をきれいにしたいのでこのままつづけたいです。前よりももっと、もっと、学校がきれいになったらいいなあとと思っています。

矢祭町立下関河内小学校

五年 藤田 皓大

水道そうじは楽しいな。だってゴミゴミみがくのが楽しいんだもん。クレンザーでバースとやってるうちにあわが出てくるもん。水道であわがきえてピカピカになりました。

会津若松市立小金井小学校

四年 山岸 弥季

わたしは、いつもゴミを分べつするように心がけています。

なぜならリサイクルできる物は、

いろいろな物に生まれかわるからです。学校では、今度からエコキャップを集める事になったのでたくさん集めたいと思います。

会津若松市立小金井小学校

六年 島田友里佳

私は前まで、そうじをするのがめんどくさいだった。学校のそうじの時間も適当だった。しかし、ある日自主的にそうじをしていたら、今までにないほど、心が気持ちよくなった。それから私はそうじが好きになった。

猪苗代町立千里小学校

六年 遠藤 雅弥

東日本大震災で、電気や水が使えない地域があって、当たり前前の事ができなくなることもあると気づきました。

ぼくは、将来のために電気や水を大事に使うように意識して節約していきたいと思います。

喜多方市立第一小学校

五年 宮川 葵祐

私は震災後、仮設住宅の高齢者のところをまわった。食料を持って行くと、

「きてくれて、うれしい」と言ってくれた。

私は、人と人の絆を強く感じた。

喜多方市立第一小学校

六年 長谷川南未

私は被災地に行けないので、テレビで被災地でボランティアを行っている人を見て、他人の苦しみがわかる優しい人達だと思った。

でも、その代わり、私はお小遣いから出しば金をした。だから助かっていたらうれしい。

新地町立福田小学校

二年 齊藤 陽菜

弟がかりてきた本に「ゆりぐみ、さとうしんご」と書いてあった。しえんぶっしでもらった本だ。小学校でもたくさんもらった。わたしもどこかでさいがいがおきた時に、きれいなままでわたせるように本を大切につかおう。

新地町立新地小学校

五年 菅野 貴斗

ぼくは、東日本大震災後、剣道部みんなボランティアをしました。そのボランティアの内容はマッサージです。剣道部では、うでとかもきたえているのでやさしくできました。ひなんしてる人たちの笑顔が見れました。

福島市立福島第二中学校

一年 木下 朋香

私はチアを習っています。チアでは、ダンスをおどるほかに、老人ホームなどに行って、ボランティアをたくさんしています。私達のボランティアで、みんながよろこんでくれると、とてもうれしいです。

福島市立蓬萊中学校

三年 五十嵐健人

僕は、震災のボランティアとして、たくさん木材やコンクリートを片づけました。この震災で失われた人の分まで自分の今できる事を精一杯がんばって福島を良くしていきたいです。

下郷町立下郷中学校

二年 渡部 麻由

私は、家でエコキャップをあとめています。

それは、八百個あつめると、一人分のワクチンがつくれるからです。

だから少しでも多くのエコキャップを集められるよう、この活動を続けていきたいです。

いわき市立入道野中学校

二年 上遠野温城

僕は、中学校のトイレ掃じのボランティアに参加しました。

トイレの中の掃じをやることになりました。

トイレの中のごみがなかなか落ちず、とても大変でした。だけど、終わったら達成感がありました。

福島県立いわき総合高等学校

二年 長谷川汐里

私は東日本大震災が発生してから、支援物資を地域のお年寄りに配るボランティア活動をしました。最初は嫌々やっていま

したが、この活動を通して人とのつながりとボランティアをずる意味を改めて感じさせられました。

福島県磐城第一高等学校

三年 鈴木奈都美

私はJRCに入って、ボランティアの楽しさを知りました。また、「してあげる」ではなく「します、させて下さい」という、奉仕の精神や、相手にとってありがた迷惑になっていないか立ち止まり考えることを学びました。

「わたしのボランティア」入選

福島市立福島第一小学校

一年 白鳥あゆみ
二年 角田 鷹也
六年 村上龍太郎

伊達市立掛田小学校

三年 佐々木綾乃

二本松市立二本松南小学校

六年 安齋 萌葉

二本松市立原瀬小学校

六年 斎藤 駿

本宮市立五百川小学校

二年 遠藤 美鈴
二年 遠藤 愛結
三年 近東 美咲
三年 遠藤 綾乃
三年 高橋 希園
三年 村田 遥輝
四年 遠藤 百恵
四年 川井乃絵瑠
四年 渡辺 良夢

四年 土屋 颯希
五年 佐藤 大希
五年 馬場 菜月
五年 三浦 大輔
五年 北澤 唯人
六年 遠藤 優生
六年 佐藤 龍雅
六年 渡邊 舞夏
六年 竹内 大夢

須賀川市立阿武隈小学校

六年 松川 愛結
六年 松谷 一樹

須賀川市立柏城小学校

三年 渡邊 真実
三年 松川 侑矢
四年 大久保楓花
五年 須釜菜奈恵

郡山市立日和田小学校

三年 滝田 愛奈

須賀川市立大森小学校

六年 関根 茉子

郡山市立安積第三小学校

五年 嶋根 寛人

鏡石町立第一小学校

六年 今泉 蓮

郡山市立桃見台小学校

三年 西牧 拓海
四年 横川 一愛
四年 高橋 克徳

鏡石町立第二小学校

三年 添田 葉月
六年 高原 未夢

須賀川市立稲田小学校

六年 酒井 美穂

天栄村立大里小学校

六年 常松 桜

玉川村立川辺小学校

三年 矢部 果琳
五年 坂本妃菜里

五年 寺下カリン

矢吹町立三神小学校

五年 関根 啓太

塙町立常豊小学校

六年 生方 琢人

矢祭町立下関河内小学校

五年 寺島 楓

会津若松市立小金井小学校

六年 角田 綸
六年 室井 萌
六年 山岸 睦奈

喜多方市立第一小学校

五年 鈴木 優伽
六年 佐藤 暢晃

新地町立新地小学校

六年 黒沢竜之介

福島市立福島第二中学校

一年 林 杏夢

二年 大波奈緒子

二年 押田 航

福島市立蓬萊中学校

二年 菅野ゆき菜

二年 長谷川可林

西郷村立西郷第一中学校

一年 金子 愛美

下郷町立下郷中学校

一年 湯田 航星

一年 佐藤 琢哉

福島県立本宮高等学校

二年 川瀬みちる

学校法人福島成蹊高等学校

二年 齋藤可奈子

福島県立白河実業高等学校

二年 深谷 真悟

三年 稲川 幸広



100文字提案

「100さんのすばらしいところ」

「〇〇さんのすばらしいところ」
支部長賞・最優秀・優秀・佳作 受賞者一覧

支部長賞

須賀川市立第三小学校

五年 五十風海空

白河市立釜子小学校

三年 徳富 麻紘

矢祭町立下関河内小学校

一年 尾亦 遥斗

猪苗代町立千里小学校

五年 草野 見佑

六年 渡部 遥

最優秀

伊達市立掛田小学校

四年 渡邊 結斗

福島市立蓬萊中学校

一年 渡邊 美香

二本松市立二本松南小学校

六年 菅野 杏実

優秀

二本松市立原瀬小学校

二年 庄司 亜光

福島市立福島第一小学校

四年 久間木孝成

郡山市立桃見台小学校

三年 関根 望未

二本松市立原瀬小学校

三年 藤田 未羽

鏡石町立第二小学校

二年 佐藤 佑飛

四年 吉田 瑞姫

郡山市立日和田小学校

二年 峯田 来偉

四年 浜津 亜実

郡山市立安積第三小学校

五年 杉原 佳苗

五年 鈴木 一宙

五年 小林 琴音

六年 伊藤 萌奈

鏡石町立第一小学校

六年 吉田 愛

鏡石町立第二小学校

六年 吉田 玲菜

石川町立山形小学校

三年 木戸 春樹

西郷村立熊倉小学校

五年 野崎 惇宏

会津若松市立小金井小学校

三年 湯田ななみ

六年 押部 明斗

六年 小椋 彩夏

六年 星 政聡

六年 二瓶 美里

新地町立福田小学校

二年 河上 遙

二年 鈴木 啓行

福島市立福島第二中学校

一年 佐藤 穂佳

いわき市立内郷第三中学校

二年 北郷 祥子

佳作

福島市立福島第一小学校

三年 菅野 晴史

五年 俵 稜真

六年 佐藤 康生

六年 佐藤 未来

二本松市立二本松南小学校

五年 五十風由樹

二本松市立原瀬小学校

一年 丹野 美桜

郡山市立日和田小学校

五年 福島 亜美

郡山市立安積第三小学校

五年 伊藤 遼

六年 水野 夏希

郡山市立桃見台小学校

一年 内海 颯太

二年 高橋 良

三年 赤沼 夏子

須賀川市立第一小学校

六年 三瓶 愛生

須賀川市立稲田小学校

六年 齋藤 歩美

須賀川市立柏城小学校

三年 塩田 桃子

三年 兼子 夢未

五年 北野寿美伶

須賀川市立大東小学校

三年 溝井友梨奈

五年 佐久間勇太

六年 佐藤 凌

須賀川市立大森小学校

六年 吉田 紋佳

六年 関根 沙夏

須賀川市立長沼東小学校

六年 荒川 瑳慧

須賀川市立白江小学校

二年 村上 明菜

二年 相樂 一誠

三年 八木 愛香

五年 鈴木 美結

五年 小池 至

五年 星野 遥

五年 本田 隼

鏡石町立第二小学校

一年 吉田 風雅

四年 石井 海翔

四年 皆川 未来

天栄村立湯本小学校

六年 小山 海里

玉川村立川辺小学校

三年 曲山 佳那

六年 我妻 芽衣

白河市立釜子小学校

三年 岡部 裕美

西郷村立熊倉小学校

五年 上石 涉

埴町立常豊小学校

六年 佐藤 杏奈

矢祭町立下関河内小学校

五年 檜山 棕華

会津若松市立小金井小学校

四年 渡邊さくら

六年 大塚 竜矢

六年 古川龍之介

六年 高橋 諒

六年 鈴木 博貴

六年 清野 陽斗

猪苗代町立千里小学校

五年 湯澤あゆみ

六年 笠間 留奈

喜多方市立第一小学校

二年 小荒井音羽

五年 湯浅 七海

五年 遠藤 華凜

六年 岩本 彩花

新地町立福田小学校

一年 佐藤 未悠

三年 林 美花

三年 荒 一志

南相馬市立真野小学校

六年 鈴木 稜河

福島市立福島第二中学校

二年 境野 佑香

福島市立蓬萊中学校

一年 三浦 夏恋

二年 齋藤 隼斗

須賀川市立小堀江中学校

一年 橋本 悠衣

西郷村立西郷第一中学校

一年 笠原 優花

下郷町立下郷中学校

三年 室井 崇

三年 渡部 萌生

福島県立須賀川高等学校

三年 目黒 万里

福島県磐城第一高等学校

三年 川崎 綾乃



「〇〇さんのすばらしいところ」支部長賞

須賀川市立第三小学校 五年 五十嵐海空

私は勇気が無いが、友達はちがう。ある日休み時間友達と遊んでいると、一年生の男の子がしゃがんでいた。私は知らないふりをしていたが友達はその子をたすけた。その瞬間私は、友達にあこがれた。

「〇〇さんのすばらしいところ」最優秀

伊達市立掛田小学校 四年 渡邊 結斗

四年二組のすばらしいところ、それはあきらめない心。走る時、勉強する時、最後まであきらめない。そして、ゆう気。悪いことは悪いときちんと言えるゆう気。あきらめない心とゆう気はみんなの宝物。大事にしたいな。

二本松市立二本松南小学校 六年 菅野 杏実

私の友達に、涼帆ちゃんという子がいる。いつも笑顔で笑っている。それが涼帆ちゃんのすばらしいところ。つらいとき、涼帆ちゃんの笑顔を見ると、まほうをかけられたように、私も笑う。それっていいなって思う。

二本松市立原瀬小学校 二年 庄司 亜光

ななみさんのすばらしいところは、スリッパをそろえてくれるところだ。

わたしがトイレにいった時、バラバラになっ

ているスリッパをそろえていました。ななみさんは、とてもえらいです。

郡山市立桃見台小学校 三年 関根 望未

結子ちゃんはいつもニコニコ

大地くんは星座はかせ

あや愛ちゃんはだれにでもやさしい

こ太郎くんはいつも元気いっぱい

それがわたしにあったらいいなあ。

鏡石町立第二小学校 二年 佐藤 佑飛

ぼくのクラスには、かけるくんというともだちがいます。かけるくんは、本が大好きで二年生になって百さついじょうも読んでいます。すごいなあ。あたまの中にたくさんのお話のへやがあるんだらうなあと思いました。

鏡石町立第二小学校 四年 吉田 瑞姫

三月十一日、私がこわくてたまらなかった時、泣き出しそうになっていた時、
「だいじょうぶ。」

と、言ってくれた。顔を見たら、海翔くんだった。本当は、海翔くんだって、泣きたいくらいだったはずなのに。

白河市立釜子小学校 三年 徳富 麻紘

さくらちゃんは、いつもここにこしている。元気もいい。さくらちゃんの言葉は、あったかい。おもいやりがある。だから、さくらちゃんがいるだけで安心する。こまった時にも元氣の言葉をかけてくれる。いつまでも友達。

矢祭町立下関河内小学校 一年 尾亦 遥斗

ぼくたちがひかるくんをいじめてたら、せなちゃんがいじめちゃだめだよっておしえてくれました。だから、
「ごめんね。」
といいました。なかよくなったよ。

猪苗代町立千里小学校 五年 草野 見佑

ふうちゃんのすばらしいところは
明るくて

やさしくて

言いたいことをいえて

相談も聞いてくれて

すばらしい。

みんなができることじゃないのにできて
すばらしい。

猪苗代町立千里小学校 六年 渡部 遥

わたしの祖母は、あたりまえの事をして、

「ありがとう。」

と、言います。「ありがとう。」は、はずかしい時があったりするけれど祖母は、だれにでも言います。わたしも祖母をみならって言えるようにしたいです。

福島市立蓬萊中学校 一年 渡邊 美香

私の尊敬する人は、となりの家にすむ、おじいちゃんだ。けがをした動物の手当てをしているやさしいおじいちゃん。「命があるものは大切にしなきゃだめだよ。」と私におしえてくれました。私も命ある物大切にしたいです。

『〇〇さんのすばらしいところ』優秀

福島市立福島第一小学校 四年 久間木孝成

ぼくはたまにちくちく言葉を使ってしまうことがある。だけど悠汰くんはいつもあったか言葉を使ってくれる。自分がいそがしいときでも、ぼくが困っていると助けてくれる。ぼくも見習ってやさしい人になりたい。

二本松市立原瀬小学校 三年 藤田 未羽

かせつの後ろに住んでいるおばあさんがげんかんで転んだ時、お母さんは、すぐにとんでいって助けていました。すごいなあ。わたしも、お母さんみたいに、やさしくてかっこいい人になりたいな。

郡山市立日和田小学校 二年 峯田 来倅

わたしは、このまえ、白石田みずずさんが、おそうじのとき、手がまっ黒になるほど、ごみひろいをしていたのを

「すごいな、みずずちゃんは。」
と思いました。

じぶんも、やろうと思いました。

郡山市立日和田小学校 四年 浜津 亜実

私の友達はとてもたよりになる人。大震災で元気がなかった時、友達は絵で私を元気づけてくれた。私は、絵でこんなに元気になれるんだとすばらしいと思った。だから私は、そんなやさしくてたよりになる友達が大好き。

郡山市立安積第三小学校 五年 杉原 佳苗

わたしが知っている人のいい所は、「あいさつ」「マナー」「きまり」が守れる人です。

わたしはいくら勉強ができて、「あいさつ」や「きまり」などが守れない人はいい人ではないと思いました。すばらしいと思います。

郡山市立安積第三小学校 五年 鈴木 一宙

じゅんや君は、帰り道、いろいろ話してくれる。遊びのことや、うれしかったこと、悲しかったこと、いろいろ話してくれる。すなおに話してくれる。だんだんうれしくなる。じゅんや君としゃべると、とてもうれしい。

郡山市立安積第三小学校 五年 小林 琴音

橋本和さんのいい所は、友達にやさしくしている所です。橋本和さんは、「だいじょうぶ、がんばって」などの言葉をかけてくれます。いつもえがおでやさしい所がいい所だと思います。わたしも友達にやさしい人になりたいです。

郡山市立安積第三小学校 六年 伊藤 萌奈

お父さんのうではすばらしい。お父さんは東日本大震災がおきた時急いで帰ってきて、私達のことを心配して、泣いている私をギュっとだきしめてくれた。そのうでの中はとっても温かった。

郡山市立桃見台小学校 一年 佐藤 菜那

みつけたよ。

べにちゃんのすばらしいところ。じをていねいにかくところがすばらしいところ。みつけたよ。

こはるちゃんのすばらしいところ。けいさんがいっぶんのできるところ。かなもあるといいな。

郡山市立桃見台小学校 一年 瀧深 陸斗

しょうごくんはうちゅうがだいすきです。ほしはまるいんだよ。とおしえてくれました。ぼくは、「ほしがた」だとおもっていたからびっくりしました。うちゅうのことをたくさんしっていてすばらしいとおもいました。

郡山市立桃見台小学校 五年 田母神魁偉

和史君がすばらしい事は、友達がいじめられていたらその子を助けてあげる事です。ぼくは、いじている人がこわくて、ぼくは止めて助けてあげるのは、無理です。止めている和史君は、ぼくにとってすごいと思いました。

須賀川市立第一小学校 五年 川原 也佳

葉さん、やさしい笑顔と元気をありがとう。落ちこんでいる時やなやみをかかえた時、聞いてもらえてうれしかったよ。相談にのってもらえたので、前に進むことができたよ。あなたのすばらしさに、感謝している私です。

須賀川市立阿武隈小学校 六年 大木 翔太

ぼくは、同じクラスの須藤健太君の礼儀正しく優しいところがすばらしいと思います。

なぜなら、社会に出るうえで礼儀はあたり前だけできない人もいるからもっと健太君のような人が増えると社会はよくなると思う。

須賀川市立柏城小学校 三年 坂本 夏菜

わたしのばあちゃんは、カレンダーの紙をいろんな形にへんしんさせてしまします。一年間あったカレンダーが大へんしん。うさぎ、つる、ふくろうも出来ました。紙がまほうにかかったみたいですすごいと思いました。

須賀川市立大森小学校 四年 関根 佳吾

とうや君は、あいさつがとても上手です。いつも大きな声で

「はい。」

と返事をします。それを聞いていると心がスカッとして気持ちがよくります。ぼくは、返事って大切だなあといつも思います。

須賀川市立大森小学校 五年 榊枝 晃太

友達の陸君は、何があってもいろいろな面で何事にもあきらめず、ちよう戦する所がとてもすばらしいと思いました。ぼくも陸君のように何事にもあきらめないで、ちよう戦する人になりたいと思います。

須賀川市立大森小学校 六年 伊藤 航介

海人くんはスポーツマン。由決くんは頭がいい。尚基くんは絵が上手で、峻真くんはおもしろい。みんな得技はちがうけれど、みんなみなすばらしい。

「みんなちがってみんないい。」だからこのクラスが大好きだ。

須賀川市立白江小学校 二年 藤原 肇人

ぼくのお父さんは、きゆうきゆう車にのっています。いつも病氣の人をあんぜんにはやくびょういんまではこぶしごとです。たいへんな時もたくさんあるようです。ぼくもお父さんのようにいのちをまもる人になりたいです。

須賀川市立白江小学校 四年 阿部優太郎

れん君のすばらしいところは、悪口を言わないことです。いつもおだやかで、ぼう力をふるったりぜったいにしません。

いつもニコニコしていて、そのえ顔を見るとうれし気持ちになります。

鏡石町立第二小学校 六年 吉田 愛

沙羅さんのすばらしいところは、友達ととても仲がいいところです。私は、とても人見知りで、友達と話をするのが苦手でした。沙羅さんといっしょにいると安心して友達と話をすることができ人見知りが直ってきました。

鏡石町立第二小学校 六年 吉田 玲菜

友達はずばらしい。

私が泣いた時はなぐさめてくれる。私が笑ったらいっしょに笑ってくれるうれしさは二倍。

悲しさは半分。

友達といると楽しい。

これからもずっといっしょがいいな。

石川町立山形小学校 三年 木戸 春樹

ぼくの通学はんのはん長は、すばらしい六年生です。いつも登校する時に、まとめて一れつにならばせてくれます。時どき、ふり返ってちゃんとならんで歩いているか見てもくれます。ぼくもはん長みたいになりたいです。

西郷村立熊倉小学校 五年 野崎 惇宏

ぼくのばあちゃん目はみえませんが、でも毎日毎日ぼくと妹のめんどうをみてくれます。そういうばあちゃんのがたを見ていると、とてもすばらしいです。

ぼくも、もし目がみえなくなっても毎日毎日元気でいたいです。

会津若松市立小金井小学校 三年 湯田ななみ

わたしのクラスに、かりんさんという友だちがいます。

かりんさんのすばらしい所は、はばかりがらずに、女の子とも、男の子とも、すぐ友だちになって、あそぶ所です。わたしも、そうなりたと思っています。

会津若松市立小金井小学校 六年 押部 明斗

ぼくは、雄大君がすばらしいと思います。雄大君はぼくが喜んでいいる時には喜んでくれて、悲しんでいる時にはなぐさめてくれる、そんな優しい人です。ぼくも気持ちを感じて喜んで悲しんだりできる人になりたいです。

会津若松市立小金井小学校 六年 小椋 彩夏

私は、裕生さんがすばらしいと思います。それは、コンビニでおかしなどを買った時に出たおつりを募金しているからです。

私は、一円の募金でも、裕生さんの心がこもった募金は届いた人もうれしいと思います。

会津若松市立小金井小学校 六年 星 政聡

ぼくのクラスに、りゅうのすけ君という友達があります。りゅうのすけ君は、クラスの話し合いで自分の意見だけでなく他の人の意見を聞いて、なによりも自分の考えをもつ事はすばらしいことだと思いました。

会津若松市立小金井小学校 六年 二瓶 美里

六年四組のみなさんのすばらしいところは、進んであいさつ運動に参加するところ。みんなにあいさつをするところ。あいさつをすると気持ちがいい。心がなごむ。このことをみんなに教えて、新しい伝統をつくらう！

新地町立福田小学校 二年 河上 遙

友だちのゆう一ろうくんはものしりです。鳥や虫のことをいろいろしっています。わたしが雨のことを本でしらべて話したらしていました。もっと本を読んでゆう一ろうくんの知らないことをさがしてみたいです。

新地町立福田小学校 二年 鈴木 啓行

おばあちゃんのいもほりを手つだった。

「おばあちゃん、ぼくがやるからいいよ。」

って言ってみたけど、なかなかぬけない。

おばあちゃんは、わらって見てたけど、そっと近づいて、いっしょにぬいてくれた。

福島市立福島第二中学校 一年 佐藤 穂佳

ある日、ごみを捨てに来た見知らぬおばあさんに気づいた私の友達の莉奈ちゃんは、自分から声をかけ、手伝っ

ていました。

簡単そうでも意外と大変な声かけ。進んで行った彼女の優しさが、とても温かかったです。

いわき市立内郷第三中学校 二年 北郷 祥子

私の母は偉大なり。強く、大きく、あたたかい。いつも私を支えてくれて、私の力の源だ。心の中の奥底に、母の言葉が光ってる。「あなたはいける。絶対に。」母の言葉を信じて走る。ゴールは母の胸の中。

「〇〇さんのすばらしいところ」佳作

福島市立福島第一小学校

三年 菅野 晴史

ぼくがすばらしいと思うのは、同級生の遠どうあゆみちゃんです。あゆみちゃんは、整理せいつとんゴミひろいを毎日やっているからです。ぼくもあゆみちゃんみたいに毎日ちゃんとできるように、したいです。

福島市立福島第一小学校

五年 俵 稜真

ぼくは、だれにでも笑顔で接してくる歩気君がすごいと思います。いつでも、どこでも、笑顔なので、いっしょにしているととても楽しいです。ぼくも、歩気君に負けないくらいの笑顔で

がんばっていききたいと思います。

福島市立福島第一小学校

六年 佐藤 康生

僕の友達の良い所は、校訓の「終始一誠意」を守り、人が見ていようがいまいが、ふつうだとサボってしまう所を、まじめに取り組む事です。そこが僕の友達の良い所だと思います。僕もそういう人間になりたいです。

福島市立福島第一小学校

六年 佐藤 未来

私の友達の佑紀ちゃんは、いつも、笑顔で私の話を聞いてくれる。それが、佑紀ちゃんの良いところ。私は、思う。(笑顔ひ

とつで、誰だって、人を笑顔にかえられる。笑顔の力って、すごいな。)

二本松市立二本松南小学校

五年 五十嵐由樹

毎朝私達をいつも見守ってくれている地域の人は、見るたびに、「すごいなあ」と毎日思います。

雨がふっていても、いつも笑顔であいさつをしてくれます。

地域の方々本当に、ありがとうございます。

二本松市立原瀬小学校

一年 丹野 美桜

はるなさんは、いっしょにあ

そぶおともだちです。いつも、わらいながらあそびます。だって、たのしいから。わたしは、はるなさんのわらうかおが、だいすきです。わたしも、いっしょにわらいます。

郡山市立日和田小学校

五年 福島 亜美

優菜さんは、何事にも全力でとりくみます。勉強もおそうじも、全力です。

私のあこがれでも、あります。優菜さんは、宿泊学習の班長で、たよりがいがある班長です。優菜さんってすごい。

郡山市立安積第三小学校

五年 伊藤 遼

ぼくのクラスの翼君のいいところは、毎朝、元気よく、「おはよう！」と、言ってくれるところです。

ぼくは、翼君にあいさつされ
ると心があたたかくなります。
あいさつは魔法のようです。

郡山市立安積第三小学校

六年 水野 夏希

私と柚子ちゃんは、よくけん
かをします。いつも帰り道で口
げんかをする。

でもゆずと私は次の日には仲
直りをしています。ゆずから話
しかけてくれます。それがゆず
のすばらしいところです。

郡山市立桃見台小学校

一年 内海 颯太

ボクのひいおばあちゃんは、
なんでもほめてくれます。

はじめてリボンむすびができ
たとき、「すごいー」といって、
はくしゅをしてほめてくれまし
た。

とてもうれしかったです。

郡山市立桃見台小学校

二年 高橋 良

おおとるなちゃんはぼくらが
できないことをおしえてくれた
り、わすれたものをかしてくれ
たり、人のしごとを手つだつた
りして、すごいと思いました。
ぼくもるなちゃんからそういう
ことを学びました。よかったで
す。

郡山市立桃見台小学校

三年 赤沼 夏子

ともひろくんのすばらしいと
ころは、先生や学校に来た方、
友だちに元気のいいあいさつが
できるところです。
私は、元気なあいさつをして
もらうと、いい気分になれます。
だから、私も元気なあいさつ
をかえます。

須賀川市立第一小学校

六年 三瓶 愛生

仲田真央さんのすばらしいと
ころ。それは「友達思い」。聞く
と、簡単だと思うがそう簡単には
できない。だって自分のことを、
すばやくこなし、すぐ友達のもの
に来てくれる。こんな友達思いの
人にはもう出会えないかも。

須賀川市立福田小学校

六年 齋藤 歩美

先生たちのすばらしいところ
は、震災があった時、先生たち
がゆうどうしてくれて、心配し
て一緒にいてくれて、お母さん
たちに電話をかけて、くるまで
まっていたことがすばらしいと
思いました。

須賀川市立柏城小学校

三年 塩田 桃子

わたしのお父さんは、地しん
でこわれた家や道路を直すし事
をしています。でも、し事が大
へんで日曜日しか会えません。
だけど、お父さんががんばると、
よろこんでくれる人がいるから、
わたしもおうえんしています。

須賀川市立柏城小学校

三年 兼子 夢未

じしんで、水をもらう時、お
母さんが、一生けんめいでした。
お母さんは、さむくても、がま
んして一生けんめいでした。わ
たしも、大人になったら、お母
さんみたいになりたいし、がん
ばっているお母さんが大すきで
す。

須賀川市立柏城小学校

五年 北野寿美怜

校長先生のすばらしい所は、私達の登校班を見守ってくれる所です。雨や雪の日も、かっぱを着て旗をふって見送ってくれます。校長先生のおかげで、危ない道もみんな安心して渡れます。毎朝ありがとうございます。

須賀川市立大東小学校

三年 溝井友梨奈

友だちがこまっていたら、だまって手つだっていたね。わたしが帰るのおそくなったからやくそくしてないのにまってるね。

だれにでもやさしくできて、たくさんいいことして、さわちゃんのはすばらしいな。

須賀川市立大東小学校

五年 佐久間勇太

ぼくがすばらしいと思う人は、碧さんです。何でもやる気を持って、進んで勉強したり、手をあげたりしてすごいなあと思います。ぼくも、何事も進んで取り組み、碧さんのように人に強い思いを感じさせる人になりたいです。

須賀川市立大東小学校

六年 佐藤 凌

ぼくがあんのしん災の夜思った事。それは、家族の力。暗やみの中の事だった。声をかけ合った。ぼくは、わざと明るい声で話した。心が折れそうだった。その一夜は支えあった。次の日家族に本当の笑顔があった。すばらしい。

須賀川市立大森小学校

六年 吉田 紋佳

あの東日本大震災の時、私は家の事が心配で、今にも泣きそうでした。そんな時、有紀さんが私のそばに来て「大丈夫」と何度も何度もはげましてくれました。有紀さんの優しさが心にしました。私の大切な友だちです。

須賀川市立大森小学校

六年 関根 沙夏

「美紀さんってすてきだな。」なぜなら、私はよく貧血になります。そんな時いつも心配してくれるのは美紀さんです。すごく元気になり、心もあたたかくなります。そんな美紀さんは、私の大切な友達です。

須賀川市立長沼東小学校

六年 荒川 瑤慧

優季さんのすばらしいところは、とてもやさしくて心が広いというところです。小さい子と仲よくしたり、わからないことがある人にもやさしく教えたりして、すばらしいと思います。優季さんのような人になりたいです。

須賀川市立白江小学校

二年 村上 明菜

わたしのおばあちゃん、歩くのも足がいたいのに、にわの草むしりをやっています。わたしが手つだうと「ありがとう。」と言ってくれます。わたしも人のやくに立つ人になりたいと思います。

須賀川市立白江小学校

二年 相樂 一誠

ぼくのおじいちゃんは、でん車のことなら何でも知っています。

でん車の色や形を見ただけで、どんなでん車かすぐにわかってしまいます。

ぼくもおじいちゃんのようにでん車はかせになりたいです。

須賀川市立白江小学校

五年 鈴木 美結

わたしの友達の史花さんは、とてもやさしい人です。史花さんは男の子でも女の子でも困っていたら助けてあげるしだれにでもやさしくしてあげてるのですごいなと思いました。わたしも史花さんみたいになりたいです。

須賀川市立白江小学校

五年 星野 遥

友達の史花さんは、算数でわからない時

「教えてあげるよ。」

と言って一緒にやってくれます。不安だったけれど、正しい答えが出て安心しました。

私は力があるので荷物を持っていてる人がいたら助けてあげます。

鏡石町立第二小学校

一年 吉田 風雅

きょう、プールでかいたくんははじめておよげました。すごかったです。かいたくんがおよぐのを見て、ぼくもがんばろうとおもいました。いつも、けんかをしているけど、かいたくんに、がんばってほしいとおもいます。

須賀川市立白江小学校

三年 八木 愛香

あみちゃんのいいところは、自分のかかりじゃないのに、ぎゅうにゅうのバケツとか、音読しらべとかを手伝っているところです。やさしいなと思いました。わたしもあみちゃんみたいやさしい人になりたいです。

須賀川市立白江小学校

五年 小池 至

ぼくの友達の温人君は、生き物をすごく大切にする人です。あるときヤゴからう化したばかりのとんぼを、日なたに移動させてあげていました。小さな生き物にもやさしい温人君とずっと友達でいたいです。

須賀川市立白江小学校

五年 本田 隼

ぼくの友達のひろゆき君は、陸上部に入っています。初めて出た地区大会の百メートルで入賞し、県大会に出ました。一生けん命練習をがんばったのだからと思いました。次の大会もがんばってほしいです。

鏡石町立第二小学校

四年 石井 海翔

泉さんは、一年生のまさみくんとちひろちゃんと、毎朝いっしょに歩いて登校しています。二人がちよっとおくれると、泉ちゃんが待っていて、また、おくれると、ちよっと先に行って、待っている。やさしいな、泉さん。

鏡石町立第二小学校

四年 皆川 未来

水に顔をつけるのって、ちょっとこわい。もぐるとなったら、うんとこわい。れんくんも、同じだったのに、

「ぼくも、無理。」

って、言っていたのに、いつの間にか、泳げるようになっていた。すごいなあと思った。

玉川村立川辺小学校

三年 曲山 佳那

わたしは、

あいさんが、

えらいと思います。

なぜかというと、

みんなの

意見をまとめたり、

あらそって

きめている時、

意見をまとめてくれたりするからです。

天栄村立湯本小学校

六年 小山 海里

師基君はすごい

みんなをまとめられる

ぼくは、できない

拓君はすごい

勉強ができる

ぼくにはできない

みんなを見ならいたいな

玉川村立川辺小学校

六年 我妻 芽衣

私のお母さんはどんくさくて

よく包丁で手を切ってしまいました

す。でもお母さんががんばって

作ったご飯はとてもおいしくて、

私もいつかお母さんみたいに子

どもを一番に考えるお母さんに

なりたいなと思います。ありがとうございます。

白河市立釜子小学校

三年 岡部 裕美

お母さんはいいしい料理を作るところがすごいです。いつも夜ごはんが楽しみです。し事からもどってきた後に、「なんでおいしく作れるの。」と聞くと、「心をこめて作っているからだよ。」と言われて、ふしぎでした。

西郷村立熊倉小学校

五年 上石 涉

ぼくは心からすばらしいと思うのはクラスのみんなです。みんなはぼくをばげましてくれたりします。みんな一人一人助け合いながらできていくクラスをぼくは心からそんけいできます。助け合うことはひつようです。

埴町立常豊小学校

六年 佐藤 杏奈

私のおじいちゃんは毎日、児童のために横断歩道に立って、街頭指導している。だから頼まれたわけでもないのに自分から進んでやっている。交通事故が0になるようにがんばっているおじいちゃんが私は大好きです。

矢祭町立下関河内小学校

五年 檜山 棕華

楓さんのすばらしい所。この前、楓さんはマリーゴールドの水やりをだれにもたのまれずにやっていました。楓さんは他の人の花にも水をやっていました。私はありがとうと声をかけました。そんな楓さんを見習いたいです。

会津若松市立小金井小学校

四年 渡邊さくら

おばあちゃんの民宿にしん災のひなんの人が生活していた。始めは元気がなかったけれどいつの間にか、ずっと前から知ってる人の様に仲よくなって、おばあちゃんを「お母さん」とよんでいる。明るく優しい心のマジック。

会津若松市立小金井小学校

六年 古川龍之介

ぼくは、生江竜大さんがとてもすばらしいと思います。理由は、いっしょにトイレに行った時、スリッパがバラバラでした。すると、積極的にスリッパをそろえていました。積極的にする姿勢が素晴らしい見習いたいです。

会津若松市立小金井小学校

六年 鈴木 博貴

「お母さんてすごいよな。」
ぼくは六人家族で母は働いている。母は毎日、朝早く起きて家事をしたり仕事に行ったりしている。しかしつらい顔一つもない。ぼくの母は、ぼくにとって世界一の母だ。

猪苗代町立千里小学校

五年 湯澤あゆみ

ゆきえさんはとてもおもしろいです。
ゆきえさんがいるとまわりの空気があかるくなります。
悲しいことがあってもゆきえさんと話すと楽しくなります。
私もゆきえさんみたいになりたいです。

会津若松市立小金井小学校

六年 大塚 竜矢

ぼくは、クラスのりゅうのすけくんのすばらしい所を見つけました。それは、クラスでは、話し合いなどで中心になったり、色々な所でリーダーになったり、とてもやさしい所です。それでとてもすばらしいと思いました。

会津若松市立小金井小学校

六年 高橋 諒

右京君は、すばらしい。同じクラスメイトだ。右京君は、だけれが、わすれものをするとき、家に届けてくれる。ぼくもそうだ。ぼうしをわすれたとき、届けてくれた。右京君は、子どもの、ゆうびん屋さん？

会津若松市立小金井小学校

六年 清野 陽斗

ぼくのひいおばあちゃんのはすばらしいところは、もう八十五さいになったのに腰を曲げながら山奥で野菜をつくっているところです。ぼくもひいおばあちゃんみたいに年をとっても腰が曲がってもずっと長生きしたいです。

猪苗代町立千里小学校

六年 笠間 留奈

私がすばらしいと思った人は、土屋菜奈さんです。菜奈さんは、いつも笑顔でおもしろい事を言ってみんなを笑わせてくれました。私悲しくて泣きそうなの時も笑わせてくれます。私は菜奈さんの事が、大好きです。

喜多方市立第一小学校

二年 小荒井音羽

まつしたれなさんのすばらしいところは、おとはがないているときにれなさんがたすけてくれました。とてもよかったです。おとはもれなさんがなっているときにたすけてあげたいです。とてもうれしかったです。

喜多方市立第一小学校

五年 遠藤 華凜

お母さんのすばらしいところは、家庭と美容師の仕事をしていることです。おそくまで仕事をしているときもあるけど休まずに行っているのでもとてもすばらしいと思いました。お客様をきれいにしてほしいと思いました。

新地町立福田小学校

一年 佐藤 未悠

おとうさんのすばらしいところは、つなみのとげんぱつじこのとき、しょうぼうだんでひなんゆうどうをしたりゆくえふめのひとをさがしたりしていたことです。

新地町立福田小学校

三年 荒 一志

ぼくのクラスは、勉強でなやんでいる友だちがいます。みんなて教え合います。声をかけてもらえると、心がポカポカになってニコニコえ顔になります。ポカポカの心とニコニコえ顔がいっぱいのすてきなクラスです。

喜多方市立第一小学校

五年 湯浅 七海

わたしが、すばらしいなと思った人は、かなみさんです。それは、すすんできたない水道のそうじをしていて、すみからすみまできれいにしていたからです。そんなかなみさんの行動がすばらしいと思いました。

喜多方市立第一小学校

六年 岩本 彩花

お父さんのすばらしいところ、それは、いろいろなことを的確に教えてくれるところ。お父さんは、私が行動がおそい理由などを的確に教えてくれるから、直しやすい。私は言われたことを、素直に直せるようになりました。

新地町立福田小学校

三年 林 美花

わたしの学級では、話し合いの時、みんなで声をかけ合って話し合いをします。せつ明も上手にできるようになってきました。学級もくひょうに向かっている感じが、わたしの学級のすばらしいところです。

南相馬市立真野小学校

六年 鈴木 稜河

ぼくがすばらしいと思った人は島根県のボランティアの花田さんです。ぼくは島根県にひなりました。その時に支えてくれた、花田さんは、島根県にいる時も福島にいる時とときどき来てくれてずっと支えてくれました。

福島市立福島第二中学校

二年 境野 佑香

私は、津波や原発事故の被害にあったのに頑張っている方々がすごいと思った。苦しい状況の中で、支え合い、一生懸命生きています。私は、そういう方々をできる限り支え、笑顔を取り戻したい、と思った。

福島市立蓬萊中学校

二年 齋藤 隼斗

Sさんのすばらしい所。転んだってつまづいたって前に進み続け、夢の実現の為に、どんなに苦しい時でも、諦めずに、前だけみて、努力している。そんなSさんが僕はとてもすばらしいと思う。

西郷村立西郷第一中学校

一年 笠原 優花

R先輩のすばらしい所は人を信じる所です。
私の変なうわさが流れた時に他の先輩は、キモイなどと言っていました。しかし、R先輩は、私の事を信じてくれました。私も先輩の様に人を信じられる人になりたいです。

下郷町立下郷中学校

三年 渡部 萌生

風夏さんは、私の親友です。十年間ずっと一緒です。そんな私が思う風夏さんのすばらしいところ。おもしろいです。優しいです。真つすぐです。百字でなんてまとまりません。毎日、学校へ行くのが楽しみです。

福島市立蓬萊中学校

一年 三浦 夏恋

春になると散った桜や花をはいてくれて、夏になるとたくさんはえた草をかくてくれる。秋になると落ちばをそうじしてくれて、冬になると雪かきをしてくれる。そんなすばらしい人が蓬萊町にはたくさんいて、尊敬します。

須賀川市立小塩江中学校

一年 橋本 悠衣

私の母親は看護師の仕事をしています。仕事に行く時刻は、朝、昼、夜と毎日が違います。母は毎日大変そうですが、仕事では、人の命をすくっています。看護師の仕事は、人の命をすくうことによって、患者さんの笑顔を増やすことのできるすてきな仕事です。私もいつか、母のような人の笑顔を増やす仕事ができると思います。

下郷町立下郷中学校

三年 室井 崇

私が颯也君のすばらしいと思うことは、誰も掃除をしたがらない場所を積極的に掃除する所だと思います。
例えばトイレなどです。私は、トイレを掃除する颯也君の姿を見ると心からすごいなと颯也君を尊敬します。

福島県立須賀川高等学校

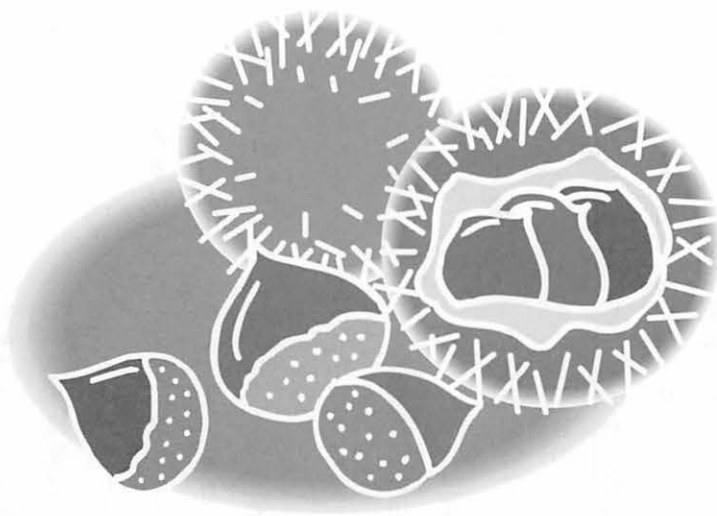
三年 目黒 万里

高校の部活で知り合った友人とは三年目の付き合いとなりました。彼女は自分の意見をしっかりと持っており、揺れることを知りません。頼りになり、一緒にいて安心できる存在です。そんな彼女に憧れてることは秘密です。

福島県磐城第一高等学校

三年 川崎 綾乃

私の友達の中に、とても真面目で優しい人がいます。彼女は、正義感が強く、私にとってヒーローの様な存在です。彼女は子どもが好きで、将来保育士になることを目指しています。既に皆からお母さんと呼ばれています。



「〇〇さんのすばらしいところ」入選

福島市立福島第一小学校

二年 齋藤 晃
五年 古川 弥
六年 小林 容直

伊達市立掛田小学校

三年 菅野 隼

二本松市立二本松南小学校

五年 星 彩華
六年 渡辺 郁也
六年 関 優太
六年 八木沼亜美

二本松市立原瀬小学校

一年 渡辺奈緒美
一年 佐藤 陽菜
二年 紺野 和
三年 黒澤 耀
三年 高宮 栞奈
四年 渡辺 愛生
五年 遊佐 渉

郡山市立日和田小学校

二年 二階堂舞桜
二年 七海 文哉
二年 藤田 花
二年 宮下 駿斗
三年 伊藤幸結花
四年 瀬谷 梨音
四年 齋藤 蘭
五年 橋本 逸樹

郡山市立安積第三小学校

五年 赤坂 尚哉
六年 安藤 萌
六年 熊田 菜花

郡山市立片平小学校

五年 鈴木 里佳
五年 橋本 風咲
五年 佐藤 姫希
六年 大熊 礼唯
六年 伊藤 芽生

郡山市立桃見台小学校

一年 渡辺 佳歩
四年 須貝 心咲
四年 神山 裕理
四年 齋藤 希葵
五年 吉田 陽香
五年 宮川 晴威

須賀川市立稲田小学校

六年 金田 夏海

須賀川市立阿武隈小学校

六年 梅橋 希咲
六年 有我紗耶香

須賀川市立柏城小学校

三年 古田 光穂
四年 熊田 紗那
五年 佐藤 佑唯
六年 高橋 俊喜
六年 本内 玲菜

須賀川市立大東小学校

三年 金澤 幸奈
五年 横田 瑠奈
五年 佐藤 亮太
六年 小林 拓真

須賀川市立大森小学校

四年 関根 朱音
四年 関根 有沙
四年 須釜菜々子
五年 関根 大真
六年 関根 有紀
六年 関根 尚基

須賀川市立長沼東小学校

六年 兼子 晃

須賀川市立白江小学校

二年 渡辺 智
二年 佐藤 誠馬
三年 相樂 駿
四年 深谷 奈々
四年 濱尾 光助
四年 小針 麗
五年 久下菜緒里

鏡石町立第二小学校

一年 熊田菜由子
一年 鈴木 優太

四年 会田 駿

四年 小坂橋京介

五年 添田 隼杜

六年 丸山 優奈

六年 小林 沙矢

天栄村立牧本小学校

一年 磯部 結

六年 川崎 満広

石川町立山形小学校

五年 緑川 匠

玉川村立川辺小学校

三年 坂本 茉裕

四年 須藤ひかる

白河市立釜子小学校

三年 坂本 楓

西郷村立熊倉小学校

五年 小林 一貴

矢吹町立三神小学校

五年 泉川 柊

埴町立常豊小学校

六年 下重 享裕

六年 吉田光一郎

矢祭町立石井小学校

六年 山崎 龍也

会津若松市立小金井小学校

四年 谷口 愛菜

六年 伊藤 稜

六年 島田友里佳

六年 荒木 覚真

会津若松市立河東学園小学校

四年 西脇 麻穂

六年 渡部 志音

猪苗代町立千里小学校

五年 佐藤 豪季

六年 佐藤 なな

喜多方市立第一小学校

五年 齋藤 夢琉

六年 星 拓真

六年 村澤 珠

新地町立福田小学校

三年 荒 泰輝

四年 林 風花

六年 荒 洋介

新地町立新地小学校

五年 今野 圭太

南相馬市立真野小学校

六年 佐々木万愛

福島市立蓬萊中学校

一年 伊藤 優花

三年 阿部 愛美

須賀川市立第二中学校

三年 目黒 夏帆

西郷村立西郷第一中学校

一年 田部井昌宏

下郷町立下郷中学校

二年 上高 涼楓

二年 渡部 隼人

三年 湯田 風夏

三年 沖村 泰輝

一〇〇文字提案

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』
『実行したこと、しようとしたこと』」

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようとしたこと』」

優秀・佳作 受賞者一覧

優秀

学校法人福島成蹊高等学校

三年 大槻 諒

福島県立白河実業高等学校

三年 矢尻 竜也

三年 鶴岡 和

福島県立いわき総合高等学校

二年 鈴木 有紗

佳作

福島県立白河実業高等学校

三年 小森 竣太

三年 高久 哲也

三年 渡辺 巧

三年 渡辺 隆晃

三年 佐藤 加奈

福島県立猪苗代高等学校

三年 遠藤美沙希

福島県立いわき総合高等学校

二年 亀崎 綾菜

二年 磯上 彩雅

三年 会原 真優

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようとしたこと』」優秀

学校法人福島成蹊高等学校 三年 大槻 諒

東日本大震災で、改めて人の命の大切さに気付いた。あの時の映像は大切な人を亡くし、泣く人でいっぱいだった。僕は自分でもできる事を考え、そのような人達を救うことができる職業、「看護師」を目指す事を決めた。

福島県立白河実業高等学校 三年 矢尻 竜也

水が出る、ご飯が食べられる、学校に行ける、家族に会えるという当たり前だったことができなくなり、普段何気なくできていることがどれだけ幸せなことに気付いたので、これからは何事にも感謝していききたいです。

福島県立白河実業高等学校 三年 鶴岡 和

東日本大震災でいのちの大切さを改めて考えさせられた。周りの人が笑って暮らせることが一番幸せなことも気付いた。いつか、まだ出来ないけど被災地の方が笑って暮らせる手伝いをこの手でしていきたいと思った。

福島県立いわき総合高等学校 二年 鈴木 有紗

「当たり前」に水も電気もガスも使えて「当たり前」に友人達と一緒にいれる。そんな「当たり前」が「当たり前」じゃなくなってから、私は、「当たり前の生活」の大切さというものを、かけがえないものに感じた。

『東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようとしたこと』』佳作

福島県立白河実業高等学校

三年 小森 峻太

私は、大震災時に避難所でボランティア活動に参加しました。避難所では食事の準備や物資の運搬する仕事をしました。ボランティアの仕事は大変なことが多くありましたが、良い経験ができたのでよかったです。

福島県立白河実業高等学校

三年 高久 哲也

震災のあとの村や町を見て、配線や電柱が倒れている所を見て私もこの村や町を通していろいろな所を修復できたらと思い、電気工事を目指し、第一種電気工事を努力して合格することが出来て少しは近づくことができた。

福島県立白河実業高等学校

三年 渡辺 巧

中学の頃から介護に憧れ、今回の東日本大震災の出来事で私は介護職に就きたいと改めて強く思いました。どんなに小さくても福島や東北、日本の支えになれるようこれからも努力して、立派なヘルパーになりたいです。

福島県立白河実業高等学校

三年 渡辺 隆滉

私は東日本大震災で家や家族を失った人が多いところで精神面が痛んでる人が多いのではと思います。助けることが出来ればと考え、将来、精神保健福祉士を目指しています。その為に今、専門の大学を目指し頑張っています。

福島県立白河実業高等学校

三年 佐藤 加奈

私が東日本大震災で気づいた

ことは、人との繋がり大切さと今を生きているすばらしさです。今を平凡に生きている私達ですが生きていることがすばらしいんだと改めて考え、今を大切に生きていこうと思っています。

福島県立猪苗代高等学校

三年 遠藤美沙希

東日本大震災が起きた後、被災者のためにボランティアに行った。被災した人たちの悲しみ、辛さ、大変さが身にしました。そして、命の尊さ、家族や友達の大切さを改めて実感することができたとても貴重な体験だった。

福島県立いわき総合高等学校

二年 亀崎 綾菜

私は部活で、避難している子どもたちに会いに行きました。子どもたちは明るい笑顔でしたが、震災当時の悲しみを考えると苦しい中頑張ってきたんだと

思います。その苦しみを分かちあえる人になりたいです。

福島県立いわき総合高等学校

二年 磯上 彩雅

三月十一日の悪夢。

「終わった。」

そう思った時、一緒に車内に居た母の手が私と妹に伸びた。

「神様助けて下さいお願いします。」

あの時に聞いたこの言葉。母の強さ、思いが私の胸を苦しめた。

福島県立いわき総合高等学校

三年 会原 真優

守られてばかりいる子供ではいられなくなった。知らない土地で、画面越しに壊れていく故郷を見つめて、怯え、苛立つ家族を見つめて。自分を守るのも、福島を生き返らせるのも、自分だと思った。やるしかないと思った。

「東日本大震災でわたしが『気づき』『考え』『実行したこと、しようとしたこと』」入選

福島県立福島高等学校

一年 日下 輔

福島県立いわき総合高等学校

三年 須藤 里菜

福島県立福島工業高等学校

二年 伊東 圭介

福島県磐城第一高等学校

二年 猪狩亜友美

福島県立本宮高等学校

二年 安斎 涼香

福島県立白河実業高等学校

二年 藤田俊太郎

二年 小松 優太

二年 大橋 侑磨

二年 相澤 里奈

二年 鈴木 陽菜

二年 相楽 大将

三年 森 沙千恵

三年 小山 水緒

三年 浅比 璃奈

福島県立喜多方東高等学校

二年 二瓶 楓



一〇〇文字提案

「その他」

「その他」佳作

新地町立新地小学校 六年 志賀 月海

原発関係者へ言います。もう原子力発電所を再稼働させないで下さい。福島県の三十キロ圏内の人たちの気持ちを考えて下さい。毎日つらい日々です。もっと他の発電の仕方はないのでしょいか。未来を考えお願いします。

「その他」入選

須賀川市立柏城小学校

三年 横田 寛人
三年 佐藤 愛莉
四年 秋元 優香
四年 小野ひなた

応募校一覧

福島市立福島第一小学校	鏡石町立第一小学校	相馬市立飯豊小学校	福島県立喜多方桐桜高等学校
福島市立東湯野小学校	鏡石町立第二小学校	南相馬市立真野小学校	福島県立猪苗代高等学校
伊達市立掛田小学校	天栄村立広戸小学校	福島市立福島第二中学校	福島県立大沼高等学校
二本松市立二本松南小学校	天栄村立大里小学校	福島市立蓬萊中学校	福島県立いわき総合高等学校
二本松市立原瀬小学校	天栄村立牧本小学校	須賀川市立第二中学校	福島県立勿来工業高等学校
本宮市立五百川小学校	天栄村立湯本小学校	須賀川市立小塩江中学校	福島県立好間高等学校
郡山市立日和田小学校	石川町立山形小学校	天栄村立湯本中学校	福島県磐城第一高等学校
郡山市立行健小学校	玉川村立川辺小学校	田村市立都路中学校	
郡山市立安積第三小学校	白河市立表郷小学校	西郷村立西郷第一中学校	
郡山市立片平小学校	白河市立釜子小学校	会津若松市立第一中学校	
郡山市立桃見台小学校	白河市立信夫第一小学校	下郷町立下郷中学校	
須賀川市立第一小学校	西郷村立熊倉小学校	いわき市立内郷第三中学校	
須賀川市立第三小学校	矢吹町立三神小学校	いわき市立入遠野中学校	
須賀川市立稲田小学校	塙町立常豊小学校	福島県立福島高等学校	
須賀川市立小塩江小学校	矢祭町立下関河内小学校	福島県立福島工業高等学校	
須賀川市立阿武隈小学校	矢祭町立石井小学校	福島県立福島北高等学校	
須賀川市立柏城小学校	会津若松市立神指小学校	福島県立本宮高等学校	
須賀川市立大東小学校	会津若松市立小金井小学校	学校法人福島成蹊高等学校	
須賀川市立大森小学校	会津若松市立河東学園小学校	学校法人松韻学園福島高等学校	
須賀川市立長沼東小学校	猪苗代町立千里小学校	福島県立郡山北工業高等学校	
須賀川市立白江小学校	喜多方市立第一小学校	福島県立須賀川高等学校	
	檜枝岐村立檜枝岐小学校	福島県立白河実業高等学校	
	新地町立福田小学校	福島県立葵高等学校	
	新地町立新地小学校	福島県立喜多方東高等学校	

作品審査を終えて

作品審査は、まず、応募された作品を事前に審査員の方に、目を通しておいただきました。その結果を集約したものを参考に、平成二十四年十月十五日（月）に日赤福島県支部会議室において、時間をかけて慎重に審査しました。

その後、選ばれた最優秀の作品の中から、今回初めて設定された「日本赤十字社社長賞」並びに「日本赤十字社福島県支部長賞」を、赤十字指導講師並びに支部職員で審査を行いました。

審査結果（入選者数）は表のとおりです。

日本赤十字社 社長賞……………1 点						
日本赤十字社 福島県支部長賞………5 点						
	詩	100文字提案				その 他
	いのちの詩	あたたかい 言 葉	ボラン ティア	すばらしい ところ	東日本 大震災	
最 優 秀	8	6	6	11	0	0
優 秀	28	25	18	32	4	0
佳 作	37	58	44	65	9	1
入 選	85	95	65	105	15	4
応募校数	応募校数	小学校47校 高等学校18校		中学校11校 計 76校		
応 募 数						
小 学 校	1013	754	586	1268	4	41
中 学 校	236	181	106	212	0	0
高等学校	51	41	43	12	191	0
計	1300	976	735	1492	195	41

以下、審査を通して気づいたことをまとめてみましたので、今後の参考にしていただきたいと思います。

◇ 詩（「いのちの詩」「愛の詩」）

このテーマは、第一回から変わらないテーマです。赤十字精神のベースにある「生命」のことについて、常に関心を持って行動してほしいとの願いからです。

今回も、児童生徒の皆さんがふだん考えている「いのち」や「愛」についての「詩」が1300点とたくさん届けられました。また、東日本大震災から一年半が過ぎ、その被災の体験を通しての「いのち」や「愛」へのより深い具体的な思いを綴った作品も多く見られました。

それらの中で、社長賞に選ばれた小塩江中二年竹内さんの詩は、今福島県民が心の中で感じていることを代表して表現してくれております。

時間がたつにつれて「忘れそうになっている」

・ あの時の一瞬のおそろしいできごと

・ 自然のとてつもない力

・ 帰りたいというふるさとへの強い思い

・ 命をはって助けてくれた人々

これらについて、「忘れるな」とくりかえし表現することにより、強調。そのために「日本人の誇り高き美しさ」思い出してほしいとうたえています。

支部長賞に選ばれた大里小六年金子さん、学法福高の安齋さんの作品は、どちらもあの悲惨な状況の中で出会った「笑顔」に勇気づけられたことを表現。

このように苦しい時にこそ「笑顔」が大切になるのかもしれない。

このテーマは一応「詩」ということで募集しております。できれば、「詩」の形式にそった形で表現していただけるとさらに訴えやすくなると考えます。ぜひ次回は、できるだけ、工夫してみてほしいものです。

◇ 100文字提案

この部門は、100文字以内に、与えられたテーマについて「気づき」「考え」「実行しようとしていること、したこと」を様々な方法で表現していただくことをねらっております。

○ あたたかい言葉のプレゼント

昨年に引き続きのテーマ。

東日本大震災で被災し、遠くに出かけた折にあたたかい声をかけられたこと、国内外の遠くから多くの支援をしていただく中で、励ましの言葉が届いたことなどについて表現した作品がたくさん寄せられました。今回も

「ありがとう」

「大丈夫」

「がんばれ」

といった言葉が多く見られました。

支部長賞に選ばれた千里小六年半谷君の前の担任の先生から届いた「誕生日おめでとう。」の言葉。

あの三月十一日の大震災により遠くに避難することになり、その後会っていない担任の先生からの誕生日に突然届いた言葉。

みんなたいへんな中、自分のことを思い続けてくださった担任の先生への感謝の思いがよく表れています。その思いから、きつと「がんばるよ」という力強い気持ち湧き上がったのでしよう。

こんなあたたかい言葉がまわりに満ちてくれば、暗く沈んでいる福島県をはじめ被災地の皆さんの心も少しずつ明るくなり、元気にがんばれるような気がしますでしょうか？

○ わたしのボランティア

応募された作品を見ると、小中学生にとつては、本格的なボランティア・サービスをすることはむずかしく、なかなか取り組みないが、身近なところの「チョボラ（ちよつとしたボランティア）」はたくさんしているようです。

このようなちよつとした奉仕活動の積み重ねが大事ななのでしょう。それにより、ボランティアの心も広がり、深まっていくようになるの

ではないでしょうか。

そのような中で、支部長賞の鏡石一小の中島さんは、震災時に周りの人たちが飲料水に困っていることに気づき、自宅の井戸水の提供を考え、母親に許可をもらって実行しました。また、小金井小六年星君は「だれにも知られないようにして花だんの水やりをし、…」ている秘密を書いてくれました。

さらに、磐城一高の鈴木奈都美さんは、「私はJRCに入って、ボランティアの楽しさを知りました。また『してあげる』ではなく『します。させてください』という、奉仕の精神や、相手にとってありがたい迷惑になつていないか立ち止まり考えることを学びました。」という作品を書いています。これらは、『奉仕（ボランティア・サービス）』のあり方を考えさせてくれたように思います。大人も子どももこのことをしっかり心の奥底に入れながら活動したいものです。

○ ○○さんのすばらしいところ

作品を見せていただくと、自分のまわりの人たちのすばらしいところをたくさん見つけて表現しています。

支部長賞に選ばれた須賀川三小の五十嵐さんの作品は、自分にはできないお友達のスばらしい姿を見て、「自分もまねをしたい」「あこがれる」と表現しました。そのようなすばらしいモデルが集団の中に多くなり、そのような人が周りにふえるといいですね。

お母さんが、毎日朝早くから、夜おそくまで自分のためにがんばっている姿に「気づき」、それに感謝する作品も多く見られました。いつの時代も「母の姿」「母の力」は偉大なですね。そのような姿を見て育った子どもは、きつところやさしい大人になることでしょう。

「○○さんの…」ということで、個人のすばらしいところをみつめて書いてくれた作品が多かったです。

そうした中で、今回新たな視点で書かれた作品が何点ありました。それは、「学級全体がすばらしい」という作品でした。自分たちのクラス全体がそのようにすばらしいことは、とてもいいことです。クラスのひとり一人が、「お友だちのすばらしいところ」を見つけあっているこういうクラスには、今話題になっている「いじめ問題」などは絶対おきませんね。ぜひ、これを機会にこのような学級が増えるこ

とを願わずにおられませんね。

○ 東日本大震災で、わたしが「気づき」「考え」「実行したこと、しようとしたこと」

このテーマは、高校生のみに設定しました。昨年度は、単に「気づき」について表現していただきましたね。

今回は、東日本大震災という未曾有の経験を通して、自分自身が「気づき」「考え」「実行したこと、しようとしたこと」についてまとめていただきました。

実行しようとしたことで多かったのは、

家族との会話、絆を大切にしようというものや進路先として、みんなの役に立ちたいと、看護師やヘルパーそして元の町に戻りたいと地元企業への就職などをめざしたい…などというものでした。

実行したことで多かったのは、

あの当時の家庭でもたいへんだった「飲料水の確保」「電気の確保」のこと、そのためにあれ以来「節電・節水」に努めていること、募金…などでした。

このテーマでまとめてほしかったのは、「気づき」「考え」たことをもとに「実行したこと・しようとしたこと」でした。今、求められているのは、「実行力」です。社会に出る一歩手前の高校生の皆さんには、少々むずかしいでしょうが、そのことをしっかり考えてほしいと感じました。

◇ お問い合わせ

○ これまでになかったことですが、昨年度の最優秀賞の作品をそのまま原稿用紙に記載し、応募された作品がいくつか見られました。とても残念でした。自分が「気づき」「考え」「実行したこと、しようとしたこと」を自分の力で表現してほしかったです。

来年度はそんなことがないことを切に願っています。

○ 昨年度までは、高校生の応募が少ないのが現状でした。しかし、今年度は指導者の先生方の働きかけにより、十八校から三三八点の応募がありました。ありがとうございました。

「書く活動」を通して、自分自身を見つめなおし、青少年赤十字活動のあり方を考えることが出来るよい機会かと思えます。

来年度もぜひたくさんのお応募をお待ちしております。
締め切りが学期末ということもあり、各校とも、ご指導がたいへんだったかと思えます。

○ 総合的な学習の時間、特別活動の時間等と国語科教育の時間を関連付け、年間指導計画の中に位置付け取り組んでくださっている学校もあるようです。参考にしてみてください。

いずれにしても、お忙しい中指導してくださった各学校の先生方に厚く感謝申し上げます。また、たくさん作品を寄せてくれた児童生徒の皆さんに対しても、審査員一同心からお礼申し上げます。

これからも、今回の多くの作品にもみられる「やさしさ・あたたかさ・思いやり」の心を大切に、「気づき」「考え」「実行する」青少年赤十字態度目標のもと、楽しく充実した学校生活や社会生活が送れるよう願っています。

審査委員一同

(文責 鵜沼 秀雅)

審査委員長 (福島県青少年赤十字賛助奉仕団委員長) 小島 喜一

審査委員 (赤十字指導講師・福島県青少年赤十字賛助奉仕団員)

荒木 藤夫 五十嵐賢治 壹岐武熙

大浪政輝 大橋勝彌 小田長次

勝見五月 川田昌利 齋藤正寛

斎藤裕子 酒井紹雄 塩谷公夫

白石允宏 鈴木幸子 高村 勘

丹野 栄 長沼源治 平田州一

藤田伸朔 古川盛也 安田悠子

米倉紀子 渡邊文勝

(日本赤十字社福島県支部)

参事監 斎藤武宜

総務課長兼組織振興課長 神野幸夫

ボランティア係長 石田政幸

嘱託 金子久仁子 鵜沼秀雅 飯田樹里

